第３次木更津市観光振興計画施策推進シート

第3次木更津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	1．多様な地域資源の磨き上げによる付加価値化
2 施策	（1）里山・里海の保全と活用
3 主な取組	①-1里山エリアを活用した体験や商品の開発 【計画上の位置】 いっせんぼくの再整備やクロモジから作られる商品の開発など、里山エリアを活用した観光振興を図ります。
	担当課：財産活用課
4 現状と課題	清水（いっせんぼく）やハンノキ湿原は自然を楽しめる絶景コースとして親しまれているが、里山の維持管理に携わる人の高齢化や減少により手入れが不足し、人の手が加わらなくなったことにより荒廃化が進み、自然環境や生態系にも悪影響を及ぼしています。 　加えて、森林自体についても成熟・高齢化が進んでおり、病虫害や伐採、植林といった適正な管理が必要となっています。
5 取組内容	・環境に優しい有機栽培に連携し、いっせんぼく周辺に生息する動植物について調査を行います。 その動物を通じ観光への名称付けを実施するとともに、在来種である希少な植物種の再生に取り組みます。 　また、教育活動の推進とともに地域ぐるみ保全の解説に向けて、伐採や観光といった環境整備に取り組みます。
6 指標	下記のうち当課の該当項目：里山再生の取組（植生調査）、環境整備

R6年度 2024年度 実績	R7年度 2025年度	R8年度 2026年度	R9年度 2027年度	R10年度 2028年度	R11年度 2029年度
	●里山再生の取組（植生調査） ●土産物の開発・商品化検討		●環境整備 ●販売		

各年度実績	4回				
各年度評価	A				

7 令和7年度の活動予定	協力してくださる有機栽培の専門スタッフにヒアリングや調査事業について説明し、対応地域の生態系や生物の状況を把握するため、季節毎に有識者と関係の自然関係調査を行います。
8 令和7年度の実績・課題	清水（いっせんぼく）まで続く木道脇の植生調査を５月～１１月の間に合計４回行い、ツリフネソウやハンゴンソウ、カ）等の病害すべき異種な種類が生育することを確認できました。 【課題】 里山の維持管理に携わる人々の高齢化や担い手不足の解決策が思いはせていません。
9 令和8年度の活動予定	今後は、有識者調査の範囲を広げるとともに、保護すべき動物の保護方法について有識者と協議を進めます。

※「8 令和7年度の実績等」について、現時点で未実施であり、今後年度末までに実施する場合は、見込みとして入力すること。
　また、その根拠に、「8 令和7年度の実績等(見込)」と書き加えること。
※各年度実績や令和7年度実績等の実績、令和8年度活動予定の入力については下の別シートにてできる限り具体的な数値等の入力をお願いします。
※「6 指標　各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	評価基準
A	指標に対し、達成または項目に進捗	設定した目標を達成している、または項目に進捗している
B	指標に対し、一部遅れはあるが進捗中	指標達成に向けた取組が進んでおり、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善が必要	指標に対する進捗が明確に不十分でかつ改善に向けた対応が必要

1

第3次木更津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	1．多様な地域資源の磨き上げによる付加価値化
2 施策	（1）里山・里海の保全と活用
3 主な取組	①-2里山エリアを活用した体験や商品の開発 【計画上の位置】 いっせんぼくの再整備やクロモジから作られる商品の開発など、里山エリアを活用した観光振興を図ります。
	担当課：観光振興課
4 現状と課題	クロモジを原材料とした高水分紅茶を商品化するにあたり、プロハンを有する施策者はいるが、生産量が足りないため新規ができていません。 　そのため、生産量の確保と生産事業者への支援を検討する必要があります。 また、里山資源の周知で発生するインフラの商品化を検討します。
5 取組内容	いっせんぼくの再整備やクロモジから作られる商品の開発など、里山エリアを活用した観光振興を図ります。
6 指標	下記のうち当課の該当項目：お土産の開発・商品化検討、販売

R6年度 2024年度 実績	R7年度 2025年度	R8年度 2026年度	R9年度 2027年度	R10年度 2028年度	R11年度 2029年度
	●里山再生の取組（植生調査） ●土産物の開発・商品化検討		●環境整備 ●販売		

各年度実績	地域資源のセイの活用と付加価値化検討				
各年度評価	B				

7 令和7年度の活動予定	さらに次回以ともに、クロモジの栽培ノウハウを有するステークホルダーと生産の拡大に向けた調査・研究を行います。 　また、地域振興団体　里山歳会と連携して里山再生の取組の活用方法を検討します。
8 令和7年度の実績・課題	さらに次回以降、里山エリアを活用した商品の開発に向け、アロマの専門家とクロモジを活用した商品ツアーを試行できました。 　ただし、生産物の時期（パクソムリ等）の取組みが乏しいままだ、商品化するにあたりコスト面での調整が浮き彫りとなりました。 また、地域振興団体　里山歳会との連携により試作が進捗となり「いっせんぼく生き物観察ツアー」を計画実行 　里山エリアを活用した体験型観光のモデルを構築しました。 【課題】 土産物の開発へ向けコスト面での調整が浮き彫りとなりました。
9 令和8年度の活動予定	土産物の開発に関するコスト面での調整が浮き彫りとなったことから、他の活用できる資源について幅広く検討します。 　また、土産物の開発・商品化を除くものとします。 里山再生の取組として地域振興団体　里山歳会と連携をしながら、さらに次回以降となり、事業にとって連携が見込められるよう里山エリアを活用した体験型観光の提案内容の充実をし、年２回の調査を目標に取り組んでまいります。

※「8 令和7年度の実績等」について、現時点で未実施であり、今後年度末までに実施する場合は、見込みとして入力すること。
　また、その根拠に、「8 令和7年度の実績等(見込)」と書き加えること。
※各年度実績や令和7年度実績等の実績、令和8年度活動予定の入力については下の別シートにてできる限り具体的な数値等の入力をお願いします。
※「6 指標　各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	評価基準
A	指標に対し、達成または項目に進捗	設定した目標を達成している、または項目に進捗している
B	指標に対し、一部遅れはあるが進捗中	指標達成に向けた取組が進んでおり、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善が必要	指標に対する進捗が明確に不十分でかつ改善に向けた対応が必要

2

第3次木更津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	1．多様な地域資源の磨き上げによる付加価値化
2 施策	（1）里山・里海の保全と活用
3 主な取組	②-2オーガニックリーリズムに適応の高いガイドの育成 【計画上の位置】 里山や里海での体験をより深く楽しみ、学ぶためのガイド人材を募集・育成することで、魅力の発見を高めます。
	担当課：観光振興課
4 現状と課題	里山や里海での体験をより深く楽しみ、学ぶためのガイド人材を募集・育成することで、観光の質を高めます。
5 取組内容	里山や里海での体験をより深く楽しみ、学ぶためのガイド人材を募集・育成することで、観光の質を高めます。
6 指標	

R6年度 2024年度 実績	R7年度 2025年度	R8年度 2026年度	R9年度 2027年度	R10年度 2028年度	R11年度 2029年度
●ガイド養成に係るセミナー開催		●ガイド人材の募集・体験機会 ●制度運用開始			

各年度実績	ガイドセミナー開催(前)				
各年度評価	B				

7 令和7年度の活動予定	さらに次回以ともに、ガイド人材の育成に向けてアクティビティのガイド人材育成のため、ガイドセミナーを計画実施した結果、ガイド人材の募集・体験機会を行うためにはセミナーを開催するのみではなく、ガイドセミナーの後後半活用できるマニュアルの作成を行い、参加型の方でもガイドとなれるような取り組みが必要であることがわかりました。 　なお、今年度のセミナーは、ガイド経験者向けのものであったため、広報は不要でした。 【課題】 ガイド人材の募集・体験機会に向け、未経験者でもガイドとなれるような取り組みが必要です。
8 令和7年度の実績・課題	さらに次回以ともに、未経験者を含む多様な方が、マニュアルの内容を習得することで、対応の不用に達した ガイドとして活動できることを目的とするため、自団体における応用マニュアルおよび講師動作調査・検証してマニュアルの作成を行っております。
9 令和8年度の活動予定	

※「8 令和7年度の実績等」について、現時点で未実施であり、今後年度末までに実施する場合は、見込みとして入力すること。
　また、その根拠に、「8 令和7年度の実績等(見込)」と書き加えること。
※各年度実績や令和7年度実績等の実績、令和8年度活動予定の入力については下の別シートにてできる限り具体的な数値等の入力をお願いします。
※「6 指標　各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	評価基準
A	指標に対し、達成または項目に進捗	設定した目標を達成している、または項目に進捗している
B	指標に対し、一部遅れはあるが進捗中	指標達成に向けた取組が進んでおり、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善が必要	指標に対する進捗が明確に不十分でかつ改善に向けた対応が必要

3

第3次木更津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	1．多様な地域資源の磨き上げによる付加価値化
2 施策	（1）里山・里海の保全と活用
3 主な取組	③-1子育て層の特性を活かした体験コンテンツの充実・利用促進 【計画上の位置】 保全と活用で活動されている関係団体は、活用する拠点において平潟駅周辺のような地域が多く、観光周遊一体と思われる地域の魅力に触れることで、観光資源としての重要性を感じてもらいます。
	担当課：観光振興課
4 現状と課題	さらに次回以降は平潟地域を活用した平潟観光会やジョーナックなどの観光コンテンツを設置しています。 　しかしながら観光客を増やしていくことは、観光下降の原因を作り出さないような取り組を模索の設置を検討します。
5 取組内容	さらに次回以降は高齢する教育旅行プログラムについて、現在は観光関係者をターゲットとしていますが、今後は教育機関を視野に入れて利用を促進します。 　また、観光施設を活用し新汽車駅等の教育旅を検討します。
6 指標	

R6年度 2024年度 実績	R7年度 2025年度	R8年度 2026年度	R9年度 2027年度	R10年度 2028年度	R11年度 2029年度
平潟観察会の参加者数 386人（B3）	●平潟の保全・活用に係る組織の検討 480人	●施設整備 530人	●維持管理 580人	640人	700人

各年度実績	組織数の検討 0人				
各年度評価	S				

7 令和7年度の活動予定	地域調査担当者　甲斐部さと連携し、案内看板などの設置について検討を行います。 また、周辺海り岩をターゲットとした教育の利用観察会を実施します。
8 令和7年度の実績・課題	最寄り周に係る案内看板の設置に関して、活用できる組織体（魅力アップ推進事業組織体）について、検討を行いました。また、設置が見込まれる関係者聞き、設置に関するニーズや問題点を確認しました。 　その結果、設置に係るニーズの有無、看板の高さ位置設定するの調査の実施、周辺構造への配慮など、複数の点について意見の検討が必要であることが明らかとなりました。 　また、令和6年度実績報告については、案下海り岩に設定せず、さらに次回以降を目標とします。 　しかしながら、関係者の方々に、関係者の理解を求めるためにも、実施には保留せざるをえない。 　連携組織の強靭化については、今年度は平潟地区の調査、周辺調査への周遊を検討するとともに、 　平潟観察会のような平潟を活用した教育のキャンプ　について、さらに次回以降を目標とするため調査を開始し計画を進めます。
9 令和8年度の活動予定	最寄り周の特性を生かした内容の看板の設置について、担当者と連携し、設置場所や掲示内容、周辺環境への配慮についてご検討を行い、看板の設置についてのニーズを調査しております。 平潟観察会（平潟を活用したツアー）について、さらに次回以降を目標に検討段階に移行段階に移行します。

※「8 令和7年度の実績等」について、現時点で未実施であり、今後年度末までに実施する場合は、見込みとして入力すること。
　また、その根拠に、「8 令和7年度の実績等(見込)」と書き加えること。
※各年度実績や令和7年度実績等の実績、令和8年度活動予定の入力については下の別シートにてできる限り具体的な数値等の入力をお願いします。
※「6 指標　各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	評価基準
A	指標に対し、達成または項目に進捗	設定した目標を達成している、または項目に進捗している
B	指標に対し、一部遅れはあるが進捗中	指標達成に向けた取組が進んでおり、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善が必要	指標に対する進捗が明確に不十分でかつ改善に向けた対応が必要

4

第3次木更津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	1．多様な地域資源の磨き上げによる付加価値化
2 施策	（1）里山・里海の保全と活用
3 主な取組	③-2さらこう式MP（RGAMEC FIELD in みたて）の活用 【計画上の位置】 地元のご協力を活用した「さらこう式MP」の利用を検討するとともに、ワーケーションなど様々なライフスタイルに合わせた環境の充実を図ることで、利用者の満足度の向上につなげます。
	担当課：観光振興課
4 現状と課題	「さらこう式MP（RGAMEC FIELD in みたて）」とは、キャンプ利用だけではなく誰しもが楽しむことができるアクティビティを通じ地域活用していくなど、年間利用者の向上が課題となっています。 　利用者の満足度の向上を図り、ビジネター都市につなげるため、施設整備を検討するための検討の機会、満足度の向上を実施することにも、利用者の増加につながります。
5 取組内容	地元のご協力を活用した「さらこう式MP」の利用を検討するとともに、ワーケーションなど様々なライフスタイルに合わせた環境の充実を図ることで、利用者の満足度の向上につなげます。
6 指標	

R6年度 2024年度 実績	R7年度 2025年度	R8年度 2026年度	R9年度 2027年度	R10年度 2028年度	R11年度 2029年度
	●満足度向上策の検討 ●満足度スコア50%以上				

各年度実績	満足度向上策の検討 アンケートの集計				
各年度評価	A				

7 令和7年度の活動予定	満足度調査のためのアンケート調査、分析を行います。 　また、平潟観察会の見込を図るため、近状況としていたお水・天ぷら屋日とする体験を整えていきます。
8 令和7年度の実績・課題	さらこう式MP（RGAMEC FIELD in みたて）を利用した方に対し、満足度調査のためのアンケート調査を行いました。また、平潟観察会の見込を図るため、令和7年7月から平潟日のみとし、令和8年1月以降は平潟日（メンテナンスのため第一・第最日以外）に変更することを設置しました。 　アンケートの集計結果をもとに、改善が必要な点を整理する必要があります。
9 令和8年度の活動予定	令和7年度アンケートの結果を踏まえ、改善が必要な点を整理し、利用者の満足度により満足していただけるよう、満足度スコア50%以上を目標として改善を進めてまいります。 　また、令和8年度からさらこう式MPに参加されて海外を管理などを専門とするアクティビティリーダーが結成する予定であることから、行政が主体に行い、参加者とご協力の活性化を図ってまいります。

※「8 令和7年度の実績等」について、現時点で未実施であり、今後年度末までに実施する場合は、見込みとして入力すること。
　また、その根拠に、「8 令和7年度の実績等(見込)」と書き加えること。
※各年度実績や令和7年度実績等の実績、令和8年度活動予定の入力については下の別シートにてできる限り具体的な数値等の入力をお願いします。
※「6 指標　各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	評価基準
A	指標に対し、達成または項目に進捗	設定した目標を達成している、または項目に進捗している
B	指標に対し、一部遅れはあるが進捗中	指標達成に向けた取組が進んでおり、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善が必要	指標に対する進捗が明確に不十分でかつ改善に向けた対応が必要

5

第3次木更津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	1．多様な地域資源の磨き上げによる付加価値化
2 施策	(2)農林水産業の活用
3 主な取組	⑤地元産農林水産物の収穫体験等イベントの推進 【計画上の記載】 ・観光関係と連携して地元産農林水産物の収穫体験を行うことで、来訪した人々へ地域の文化や攻略を知ってもらうとともに、地域の魅力増加の向上を図ります。
	担当課：農林商業課
4 現状と課題	本市は豊かな自然環境にあるものの、近年の都市化の進展による耕業放棄化もあり、地域や家庭で受け継がれてきた地域産農林水産物への理解が薄れてきています。 また、木更津市教育委員会が小学校の4・5年生を対象に実施した令和7年度食育に関するアンケート調査では、地域農業への関心につながる地産地消の認知度も55.1%と低い状況です。
5 取組内容	こうした状況を踏まえ、3歳以上小学生までの親子の市民を対象に、種蒔き等の畑作業、竹の筍採等の収穫体験会を実施し、市民の食と農業への理解（啓蒙）を増進します。
6 指標	

R6年度 2024年度 実績	R7年度 2025年度	R8年度 2026年度	R9年度 2027年度	R10年度 2028年度	R11年度 2029年度
イベント開催数 3回	●3回以上 →				
各年度実績	2回（100人）				
各年度評価	A				

7 令和7年度の活動予定	様々な広報媒体により参加者を募集し、令和7年6月と10月の2回（定員各15人）市内農場で実施します。
8 令和7年度の実績・課題	【実績】 ・参加申込が、定員の5.4～6.1倍あり、市民の参加意欲は高いことから、実施回数を増やすために予算の確保が必要です。
9 令和8年度の活動予定	3歳以上小学生までの親子の市民を対象に、種蒔き等の畑作業、竹の筍採等の収穫体験会（春・秋計10人）を実施するとともに、小学生以上の親子による掘採え（春）稲刈り（秋）の体験会（計40人）を加え、市民の食と農業への理解（啓蒙）を増進します。

※「8 令和7年度の実績等」について、現時点で未実施であり、今後年度末までに実施する場合は、見込みとして入力すること。
また、その際には、「8 令和7年度の実績等(見込)」と書き換えること。
※各年度実績や令和7年度実績や課題、令和8年度活動予定の入力については できる限り具体的な数値等の入力をお願いします。
※「6 指標 各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	判定基準
A	指標に対し、達成または順調に進捗	設定した指標を達成している、または順調に進捗している
B	指標に対し、一部課題はあるが進捗中	指標達成に向けた取組が進んでおり、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善が必要	指標に対する進捗が明確に不十分でかつ改善に向けた対応が必要

第3次木更津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	1．多様な地域資源の磨き上げによる付加価値化
2 施策	(2)農林水産業の活用
3 主な取組	⑥ハーブツーリズムの推進 【計画上の記載】 ・観光・農業などの地域資源を活かした農業や農業体験を通じて、都市部の人々と交流を図ることで、交化や自然環境など地域の魅力発信につなげます。
	担当課：農林商業課
4 現状と課題	富津田倉地区が有する豊かな自然や緑に囲まれ、地域の魅力を伝える広域交流拠点である「緑の海岸」を核として、当該地域の活性化を図っていく必要があります。
5 取組内容	都心への訪問客・アクセスの良さを活かし、年間来や観光従業員の誘致により「食」や「農」をテーマとする富山第3駅広場設計を実施し、観光と農村の交流を促進していくことで、地域農産物のPRにつなげます。
6 指標	下記のうち当該の該当項目：農協の実施数

R6年度 2024年度 実績	R7年度 2025年度	R8年度 2026年度	R9年度 2027年度	R10年度 2028年度	R11年度 2029年度
観光農園（いちご・ブルーベリー）入園数 40,873人 農協の実施数 （0回）	65,000人 ●1回以上 →	69,000人	72,000人	76,000人	78,000人
各年度実績	1回				
各年度評価	C				

7 令和7年度の活動予定	富津田倉地区において、道の駅を核とした農山漁村交流拠点実践を実施します。
8 令和7年度の実績・課題	小学生を含む親子を対象とした、農業体験や収穫作業や連続与等の農作業、竹の筍採等の収穫体験を含めた年で計画し、時から収穫した農産物を持ち帰って調理し味わう体験などの都会ファーを実施しました。実績・農協等ヒーから配慮が有れず、申込みが少なくなりました。 【課題】 ・実績・準備・参等等に十分に時間を使け、参加者が協力して参加したいと感じられる魅力ある内容の企画が必要です。
9 令和8年度の活動予定	DMOなどを活用しながら、道の駅を核とした農山漁村滞在型旅行を実施します。

※「8 令和7年度の実績等」について、現時点で未実施であり、今後年度末までに実施する場合は、見込みとして入力すること。
また、その際には、「8 令和7年度の実績等(見込)」と書き換えること。
※各年度実績や令和7年度実績や課題、令和8年度活動予定の入力については できる限り具体的な数値等の入力をお願いします。
※「6 指標 各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	判定基準
A	指標に対し、達成または順調に進捗	設定した指標を達成している、または順調に進捗している
B	指標に対し、一部課題はあるが進捗中	指標達成に向けた取組が進んでおり、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善が必要	指標に対する進捗が明確に不十分でかつ改善に向けた対応が必要

第3次木更津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	1．多様な地域資源の磨き上げによる付加価値化
2 施策	(2)農林水産業の活用
3 主な取組	⑦グリーンツーリズムの推進 【計画上の記載】 ・農山・農業などの地域資源を活かした農業や農業体験を通じて、都市部の人々と交流を図ることで、交化や自然環境など地域の魅力発信につなげます。
	担当課：観光振興課
4 現状と課題	新型コロナウイルス感染症大流行以前まで、近年の観光入込客数は増加傾向になっています。 今後も、さらに観光資源を掘り起こし、PRを強化していく必要があります。
5 取組内容	各観光農園のシーズンに合わせ、広報さくらづや市公式SNS、木更津おでかけナビ等はじめ、かずさ4市で運用している「手漉内郭ライドマップ」など様々な媒体を活用し周知を行います。 また、いちご狩り等、大型商業施設と連携しメタンツアーを実施することで、相互に観光誘客を図ります。
6 指標	下記のうち当該の該当項目：観光農園（いちご・ブルーベリー）入園者数

R6年度 2024年度 実績	R7年度 2025年度	R8年度 2026年度	R9年度 2027年度	R10年度 2028年度	R11年度 2029年度
観光農園（いちご・ブルーベリー）入園数 40,873人 農協の実施数 （0回）	65,000人 ●1回以上 →	69,000人	72,000人	76,000人	78,000人
各年度実績	78,211人				
各年度評価	A				

7 令和7年度の活動予定	広報さくらづや市公式SNSを活用し情報発信を行うとともに、観光農園や飲食業の協力を仰ぎかけます。 また、都市部でイベントを実施する際には、観光農園の観園情報を提供し、体験メニュー等を取り入れていくことで、地域の魅力を発信し交流促進につなげます。
8 令和7年度の実績・課題	【実績】 ・観光農園については、市公式SNSのほか、木更津観光情報公式サイト「木更津観光ナビ」の活用や観光情報誌などを活用し、広報を行いました。 6月28日に開催した木更津チェンバルバレーでは、観光ブルーベリー観光農園協議会の方々と、ブルーベリーの収穫体験を実施し、参加者アンケートでは観光農園の魅力を感じる結果となりました。 【課題】 ・イベントで特化する観点が少ないことが課題です。
9 令和8年度の活動予定	令和7年実績、令和8年4月に木更津チェンバルバレーで特化を行います。 観光情報に合わせ、三井アウトレットパークとコラボしたスタンプラリーが実施できないか、観光農園協会に働きかけを行います。 また、来園誘客等でのイベントの機会を設けるよう検討します。

※「8 令和7年度の実績等」について、現時点で未実施であり、今後年度末までに実施する場合は、見込みとして入力すること。
また、その際には、「8 令和7年度の実績等(見込)」と書き換えること。
※各年度実績や令和7年度実績や課題、令和8年度活動予定の入力については できる限り具体的な数値等の入力をお願いします。
※「6 指標 各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	判定基準
A	指標に対し、達成または順調に進捗	設定した指標を達成している、または順調に進捗している
B	指標に対し、一部課題はあるが進捗中	指標達成に向けた取組が進んでおり、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善が必要	指標に対する進捗が明確に不十分でかつ改善に向けた対応が必要

第3次木更津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	1．多様な地域資源の磨き上げによる付加価値化
2 施策	(2)農林水産業の活用
3 主な取組	⑧地元産農産物の販売・加工の推進 【計画上の記載】 ・地元産農産物を活かした農業や農業体験を通じて、都市部の人々と交流を図ることで、交化や自然環境など地域の魅力発信につなげます。
	担当課：観光振興課
4 現状と課題	新型コロナウイルス感染症大流行以前まで、近年の観光入込客数は増加傾向になっています。 今後も、さらに観光資源を掘り起こし、PRを強化していく必要があります。
5 取組内容	各観光農園のシーズンに合わせ、広報さくらづや市公式SNS、木更津おでかけナビ等はじめ、かずさ4市で運用している「手漉内郭ライドマップ」など様々な媒体を活用し周知を行います。 また、いちご狩り等、大型商業施設と連携しメタンツアーを実施することで、相互に観光誘客を図ります。
6 指標	

R6年度 2024年度 実績	R7年度 2025年度	R8年度 2026年度	R9年度 2027年度	R10年度 2028年度	R11年度 2029年度
●広報、パンフレット配布、SNS活用等、各種イベント活用 →					
期干狩り観入場者数 14.8万人	12.0万人	90万人	90.6万人	91.3万人	91.8万人
各年度実績	12.1万人				
各年度評価	B				

7 令和7年度の活動予定	道路駅的通過と利用の、チラシやポスターを制作し、観光農園等に配架し周知をしていきます。また、広報さくらづや市公式SNSの各種媒体を活用し情報発信を行う様や、年度内第に有る農園施設で期イベントを実施します。
8 令和7年度の実績・課題	【実績】 ・作成したチラシは市内観光施設等17カ所、市外11カ所、市内小学校、公民館、各施設並び組合に配布し、ポスターも観光農園14カ所や市内公民館に配布しました。 ・期のオープン当日には、施設などで期イベント観光農園組合の方々と、ブルーベリーの収穫体験を実施し、アサリの販売の組合や施設会では各施設の期日情報を発信し、期イベントを実施しました。 【課題】 ・市外へチラシを配布する機会がなく、市外への周知につながっていません。
9 令和8年度の活動予定	令和7年実績、令和8年4月に木更津チェンバルバレーで特化を行います。 観光情報に合わせ、三井アウトレットパークとコラボしたスタンプラリーが実施できないか、観光農園協会に働きかけを行います。 また、来園誘客等でのイベントの機会を設けるよう検討します。

※「8 令和7年度の実績等」について、現時点で未実施であり、今後年度末までに実施する場合は、見込みとして入力すること。
また、その際には、「8 令和7年度の実績等(見込)」と書き換えること。
※各年度実績や令和7年度実績や課題、令和8年度活動予定の入力については できる限り具体的な数値等の入力をお願いします。
※「6 指標 各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	判定基準
A	指標に対し、達成または順調に進捗	設定した指標を達成している、または順調に進捗している
B	指標に対し、一部課題はあるが進捗中	指標達成に向けた取組が進んでおり、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善が必要	指標に対する進捗が明確に不十分でかつ改善に向けた対応が必要

第3次木更津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	1．多様な地域資源の磨き上げによる付加価値化
2 施策	(2)農林水産業の活用
3 主な取組	⑨地元産農産物の保全整備に係る支援 【計画上の記載】 ・アサリの資源量を確保していくため、水産資源調査を物の資料提供を行うとともに、環境改善を図るため、整備指導の整備に係る取組を、国や県の補助金を活用し支援していきます。
	担当課：農林水産課
4 現状と課題	市内漁業は、近年の資源の減少に伴い、漁業従事者の高齢化が進んでいる状況であるとともに、漁業者を含む活動グループに対し日当等の補助を行っていますが、漁場保全を行う活動時間の不足や人員確保が課題となっています。
5 取組内容	漁場にてアサリの資源の調査によるツメタガイの除去や底竹本等の浮遊・堆積物の除去作業を実施します。
6 指標	

R6年度 2024年度 実績	R7年度 2025年度	R8年度 2026年度	R9年度 2027年度	R10年度 2028年度	R11年度 2029年度
●アサリ稚貝の育成環境整備 →					
●食害対策に係る支援 →					
アサリの年間生産量 141トン（令和7年）	141トン	141トン	141トン	141トン	141トン
（水産振興計画） 各年度実績	244トン（令和6年度実績）	（176.4トン）	（179.8トン）	（183.2トン）	（186.6トン）
各年度評価	A				

7 令和7年度の活動予定	水産多面的機能強化対策事業にて、水産資源造成活動を継続し、活場の環境改善を図ります。
8 令和7年度の実績・課題	水産多面的機能強化対策事業にて、漁業者団体の活動参加者により、アサリの稚貝の確認となるアオサの除去や、海苔、底竹本の除去を行なった。漁場の環境改善を図りました。 【課題】 ・漁業者の高齢化や担い手不足により、継続的な活動時間や人員の確保が課題となっています。
9 令和8年度の活動予定	令和7年度に引き続き、水産多面的機能強化対策事業にて、関係団体と連携しながら水産資源造成活動や資源対策や漁場の環境改善を図ります。

※「8 令和7年度の実績等」について、現時点で未実施であり、今後年度末までに実施する場合は、見込みとして入力すること。
また、その際には、「8 令和7年度の実績等(見込)」と書き換えること。
※各年度実績や令和7年度実績や課題、令和8年度活動予定の入力については できる限り具体的な数値等の入力をお願いします。
※「6 指標 各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	判定基準
A	指標に対し、達成または順調に進捗	設定した指標を達成している、または順調に進捗している
B	指標に対し、一部課題はあるが進捗中	指標達成に向けた取組が進んでおり、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善が必要	指標に対する進捗が明確に不十分でかつ改善に向けた対応が必要

第3次木更津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	1．多様な地域資源の磨き上げによる付加価値化
2 施策	(3)各種イベントの開催・充実
3 主な取組	①-1木更津港まつり 【計画上の記載】 ・約3万人以上が来場する本市最大のイベントを、今後も持続可能な大会として、いくために、安全対策や駐車場整備とともに来場客増加の取組を推進します。
	担当課：資源環境推進課
4 現状と課題	ゆったりしてきていて、最初など計画のビバリカー等を「場所をいりは（可能）み用用者・資源ごみ専用車」が持参し、ごみ袋は、置き場は、置き入れ入りをは「指定ごみ専用車・資源ごみ専用車」は活性化協議してします。 ・現状は、可燃ごみと資源ごみで出る場所を分けている状況でないため、分別意識の向上等を取り組みを行います。
5 取組内容	広報媒体での周知や来日現場での声掛け等呼びかします。
6 指標	下記のうち当該の該当項目：ごみのリサイクル率

R6年度 2024年度 実績	R7年度 2025年度	R8年度 2026年度	R9年度 2027年度	R10年度 2028年度	R11年度 2029年度
来場者数 384,000人 ごみのリサイクル率 9.4%	336,300人 9.5%	338,600人 9.6%	340,300人 9.7%	342,300人 9.8%	344,300人 9.9%
各年度実績	8.6%				
各年度評価	B				

7 令和7年度の活動予定	港まつり実行委員会と連携し、港まつりチラシなどの広報媒体に分別徹底に上を図る記事を掲載するほか、ごみ収集員は来場者に物品提供で分別の時間を使してもらうよう協力を求めます。
8 令和7年度の実績・課題	現年と同様に、ごみ収集容器を配置し、ごみ処理を行いました。リサイクル率は8.6%でしたが、この現状は目標の9.6%を満たの1.5、8.9%に対し、1.4、960kgと930kgの減少となりました。 【課題】 ・協議により、可燃ごみと資源ごみのごみ収集量の低分けがつかず、分別が徹底されずに混出されることがありました。
9 令和8年度の活動予定	令和7年度と同様にごみの分別意識の徹底に取り組みます。

※「8 令和7年度の実績等」について、現時点で未実施であり、今後年度末までに実施する場合は、見込みとして入力すること。
また、その際には、「8 令和7年度の実績等(見込)」と書き換えること。
※各年度実績や令和7年度実績や課題、令和8年度活動予定の入力については できる限り具体的な数値等の入力をお願いします。
※「6 指標 各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	判定基準
A	指標に対し、達成または順調に進捗	設定した指標を達成している、または順調に進捗している
B	指標に対し、一部課題はあるが進捗中	指標達成に向けた取組が進んでおり、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善が必要	指標に対する進捗が明確に不十分でかつ改善に向けた対応が必要

第3次本更津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	1、多様な地域資源の磨き上げによる付加価値化		
2 施策	(3)各種イベントの開催・充実		
3 主な取組	仮-2本更津春まつり 【計画上の記載】 ・約10万人以上が来場する本市最大のイベントを、今後も持続可能な大会として いくために、観光対策や経済循環とともに環境負荷低減の観点を重視します。	担当課 観光振興課	
4 現状と課題	市内外からまべの観光客が訪れる一大イベントであることから、市民交流やシビックプライドの醸成を促進させ ることが期待できます。 しかしながら、人件費や設材料の高騰により多少事業費が増加し、財政規模が制約となりつつあるため、自主財源 確保策を講じていく必要があるとともに、来場者10万人以上のオーバーツーリズム対策を検討するとともに、市民可視 化大会経営を行うために、職員負担を軽減する取組が推進を図ります。		
5 取組内容	約10万人が来場する本市最大のイベントを、今後も持続可能な大会として いていくために、安全対策や経済循環とともに、環境負荷低減の取組を推進します。		
6 指標	下記のうち与謝の国当項目：来場者数		

86年度 2024年度 実績	87年度 2025年度	88年度 2026年度	89年度 2027年度	810年度 2028年度	811年度 2029年度
来場者数 354,000人 (コロナ打ち切り年 9.4%)	390,000人 8.0%	330,000人 8.4%	345,000人 8.7%	362,000人 9.0%	344,000人 9.9%
各年度実績	363,000人				
各年度評価	A				

7 令和7年度の活動予定	渋滞ついりプロモーションを行い、来場者の増加を図るとともに、有料観覧席席数の設定や駐車場の有料化などの財源確保を講じることで、持続可能な大会運営を行います。
8 令和7年度の実績・課題	渋滞ついりについて、来場者の観覧に広報活動を行った結果、これまでの来場者を上回る過去最多の20万人を記録しました。 令和7年度（第7回）は大会から公共施設の有償開放により約の有料化を行い、事前予約を募集したところ観覧席利用率100%となり、持続可能な大会運営に関する基礎調査を開始することができました。 【課題】 持続可能な大会運営につなげるため、観覧者観覧席（有料観覧席の観覧席）が必要です。
9 令和8年度の活動予定	渋滞ついりの開催に合わせ、より効果的な交流拠点を検討し広報活動を行い、観覧者来場者数の増加を図ります。 また、有料観覧席については、観覧者の利用設備を検討とし、来場者の観覧席利用率を目指すとともに、持続可能な大会運営に関する調査の継続を継続します。

※「6 指標」の「令和7年度の実績値」について、現時点で未実施であり、今後年度末までに実施する場合は、見込みとして入力すること。
また、その際には、「8 令和7年度の実績値（見込）」と書き換えること。
※各年度実績や令和7年度実績や課題、今年度年度末までの入力については年度末頃に改めて入力をお願いします。
※「6 指標 各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	判定基準
A	指標に対し、達成または順調に推移	設定した指標を達成している、または順調に推移している
B	指標に対し、一部遅れはあるが推移中	指標達成に向けた取組が進められており、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善が必要	指標に対する進捗が明確に不十分でかつ改善に向けた対応が必要

第3次本更津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	1、多様な地域資源の磨き上げによる付加価値化		
2 施策	(3)各種イベントの開催・充実		
3 主な取組	仮1KISARAZU PARK BAY FESTIVAL 【計画上の記載】 ・プレジャーボートやコストの看板体験などを テーマとしたイベントの開催 により、本更津地方地域の活性化を図ります。	担当課 観光振興課	
4 現状と課題	「KISARAZU PARK BAY FESTIVAL」は、プログラムの内容が減少傾向にあることから、実施が困難になられます。 そのため、令和9年に開催している料金の変更や販売戦略も検討の段階に仕様サイズを検討する必要があります。		
5 取組内容	観覧者と海をテーマとしたイベント内容を検討に開催していくことで、本更津地方海の活性化につなげます。 また、イベント開催日を観光客の来遊ピークを狙い日時に設定するとともに、来場者向けのアンケートを実施することで、来場者のニーズの把握やイベント内容を充実していきます。		
6 指標			

86年度 2024年度 実績	87年度 2025年度	88年度 2026年度	89年度 2027年度	810年度 2028年度	811年度 2029年度
来場者数 878人	1,000人	1,110人	1,206人	1,300人	1,408人
各年度実績	2,500人				
各年度評価	A				

7 令和7年度の活動予定	観覧者とイベント内容について検討し、充実を図り観光誘客を図るとともに、イベント来場者向けアンケートを実施します。
8 令和7年度の実績・課題	海と の連携企画を行う連携を新たに連携し、イベント当日に海の海鮮活動を実施する予定でしたが、悪天候により船の出航できず中止となってしまいました。 プログラムを充実し内容の充実を図ったことで、イベントの入場客数は約2,500人と例年よりも増加しました。 【課題】 ・民間開催した、本更津チャラバルのアンケートと兼ねて実施したため、内容が不十分であり、回答者少なかったことから、アンケート内容の見直しが必要で。
9 令和8年度の活動予定	イベント内容については引き続き、入込客数の増加につながるよう開催者と検討を行います。 ・例年のイベント来場者向けアンケートでは、満足の感えない（アンケートの設数が少ないため）ため、内容の見直しを図ります。

※「6 指標」の「令和7年度の実績値」について、現時点で未実施であり、今後年度末までに実施する場合は、見込みとして入力すること。
また、その際には、「8 令和7年度の実績値（見込）」と書き換えること。
※各年度実績や令和7年度実績や課題、今年度年度末までの入力については年度末頃に改めて入力をお願いします。
※「6 指標 各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	判定基準
A	指標に対し、達成または順調に推移	設定した指標を達成している、または順調に推移している
B	指標に対し、一部遅れはあるが推移中	指標達成に向けた取組が進められており、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善が必要	指標に対する進捗が明確に不十分でかつ改善に向けた対応が必要

第3次本更津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	1、多様な地域資源の磨き上げによる付加価値化		
2 施策	(3)各種イベントの開催・充実		
3 主な取組	仮1KISARAZU BASIC CITY FESTIVAL 【計画上の記載】 「オーガニックシティさらさら」を象徴するイベントとして継続的に開催することで市の認知度向上につなげます。	担当課 オーガニックシティ推進課	
4 現状と課題	「オーガニックシティさらさら」を象徴するイベントとして、市市の認知度向上に大きく貢献しています。 各所、継続的に開催することで、関係人口創出（アイデンティティの醸成）を、結果として「都市ブランドの構築」につながっています。 また、経済的な効果面からは、参加者の満足度（アクアフィットの効果を評価）としているところ、アクアフィットの参加者は、市内の飲食店や宿泊施設を利用することで、市内経済の活性化に貢献しています。 なかでもこの事業は市単位の活動であり、市内の人口減少に対する歯止めとなる事業であり、市オーガニックシティ宣言をさらに、全国的な情報発信することにつながっています。 一方で、過去を通じ市民参加型事業は開催年と連続開催の調整が難しく、キャンセル（中止）の場合を踏まえ、安全と確保の観点と構成や市内への経済的効果の観点が重要で、事業の継続的な観点から、現開催を基本開催を継続（年度毎に）とし、市民に理解を求め対応に協力を求める必要があります。		
5 取組内容	「オーガニックシティさらさら」を象徴するイベントとして継続的に開催することで、市市の認知度向上につなげます。		
6 指標			

86年度 2024年度 実績	87年度 2025年度	88年度 2026年度	89年度 2027年度	810年度 2028年度	811年度 2029年度
来場者数 29,000人	35,000人	37,000人	40,000人	43,000人	46,000人
各年度実績	30,000人				
各年度評価	B				

7 令和7年度の活動予定	1回目の開催を実施した結果を踏まえ、継続性・強化つなぐ取り組みとイベントとしての開催地を実施することも、継続に向けて実施場所や来場者の調査（アンケート）を行います。 また、「オーガニックシティさらさら」を用いて各日（オーガニック・デイ）として、各種企業体による各開催行事の開催を実施することで来場者の期待値向上や、地域経済の活性化に貢献していくための施策を継続することを目的を掲げます。
8 令和7年度の実績・課題	1回目の開催を実施した結果を踏まえ、継続性・強化つなぐ取り組みとイベントとしての開催地を実施することも、継続に向けて実施場所や来場者の調査（アンケート）を行ったところ、 また、新たな観光資源の創出として、観覧会の募集に実施、クラウドファンディング及びアクアフィットによる来野機会を実施することで来場者の期待値向上や、地域経済の活性化に貢献しました。 【課題】 ・観覧者に対する観覧者のパ ちからこから、観覧機会の実施に向けた取組や、来野中心に実施です。事業への経済的成功やキャッ ちったが多くあるとされ、観覧機会の継続について、今後の課題が求められています。
9 令和8年度の活動予定	「オーガニックシティさらさら」の開催方式の検討を行います。その観覧をさらに進めるため、観覧機会を増やし、市民の観覧者にとどまらず広く知ってもらう。「オーガニックシティさらさら」の認知度を高めて、来場者にとどまらず、多様な企業に向けて市民参加を呼び、観覧者を増加させるとともに、市市の経済を活性化します。 ・さらに観覧者数、「オーガニックシティさらさら」の認知度を高めるため、「オーガニックさらさらくい」の広がりに期待しつつ対応します。

※「6 指標」の「令和7年度の実績値」について、現時点で未実施であり、今後年度末までに実施する場合は、見込みとして入力すること。
また、その際には、「8 令和7年度の実績値（見込）」と書き換えること。
※各年度実績や令和7年度実績や課題、今年度年度末までの入力については年度末頃に改めて入力をお願いします。
※「6 指標 各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	判定基準
A	指標に対し、達成または順調に推移	設定した指標を達成している、または順調に推移している
B	指標に対し、一部遅れはあるが推移中	指標達成に向けた取組が進められており、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善が必要	指標に対する進捗が明確に不十分でかつ改善に向けた対応が必要

第3次本更津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	1、多様な地域資源の磨き上げによる付加価値化		
2 施策	(4)歴史・文化資源・芸術を活用したコンサート、アートイベントの実施		
3 主な取組	仮1コンサート・アートイベントの開催 【計画上の記載】 ・プロの音楽家や芸術団体を招いたコンサート等を開催し、優れた芸術文化に触れる機会を提供します。	担当課 文化課	
4 現状と課題	市民が優れた音楽やアートなどに触れる機会を設け、市内の芸術文化振興を推進するためコンサート、アートワークショップ、美術展を行います。 ・コンサートについては有料席が多く敷居になっていることで、アートイベントについては来場する市民の年齢層に偏りがあることが課題となっています。		
5 取組内容	・イベントごとに、参加が少ない年齢層に向けてマッチングした広報・周知方法の拡充に努め、希望者が多いイベントについては参加できる機会を増加できるよう検討します。		
6 指標			

86年度 2024年度 実績	87年度 2025年度	88年度 2026年度	89年度 2027年度	810年度 2028年度	811年度 2029年度
コンサート・アートイベント来場者数 1,078人（R5年度）	1,200人	1,300人	1,400人	3,500人	4,000人
各年度実績	1,511人				
各年度評価	A				

7 令和7年度の活動予定	コンサート5回（6月、7月、時期未定）およびアートワークショップ5回（9月、11月、2月）、美術展1回（時期未定）を開催します。
8 令和7年度の実績等見込み	コンサート4回（6月2回、7月1回、3月1回）及びアートワークショップ3回（9月2回、11月2回、2月1回）、美術展1回（3月）を開催しました。 【課題】 ・コンサート開催等に使用する市民会館の収容人数に対して申し込み人数が2倍程度となっており、在勤在住者優先で抽選となっているためおりたります。 ・令和7年度は市民観覧数を増やして対応しましたが、やはり抽選となっています。
9 令和8年度の活動予定	コンサート4回（6月2回、7月1回、時期未定1回）およびアートワークショップ3回（6月2回、8月1回、11月2回、2月1回）を予定しています。

※「6 指標」の「令和7年度の実績値」について、現時点で未実施であり、今後年度末までに実施する場合は、見込みとして入力すること。
また、その際には、「8 令和7年度の実績値（見込）」と書き換えること。
※各年度実績や令和7年度実績や課題、今年度年度末までの入力については年度末頃に改めて入力をお願いします。
※「6 指標 各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	判定基準
A	指標に対し、達成または順調に推移	設定した指標を達成している、または順調に推移している
B	指標に対し、一部遅れはあるが推移中	指標達成に向けた取組が進められており、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善が必要	指標に対する進捗が明確に不十分でかつ改善に向けた対応が必要

第3次本更津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	1、多様な地域資源の磨き上げによる付加価値化		
2 施策	(4)歴史・文化資源・芸術を活用したコンサート、アートイベントの実施		
3 主な取組	仮2歴史・文化財の多言語対応 【計画上の記載】 ・指定文化財に設置している解説同看板に二次元コードを掲出し、多言語（英語・中国語・韓国語）による解説を閲覧できるようにしていくことで、外国人観光客の利便性の向上につなげていきます。	担当課 文化課	
4 現状と課題	指定文化財に解説看板を設置していますが、日本語表記のみとなっており、多言語（英語・中国語・韓国語）の解説文がありません。 そのため、外国人観光客に魅力が伝わらない状況となっています。		
5 取組内容	指定文化財に設置している解説同看板に二次元コードを掲出し、多言語（英語・中国語・韓国語）による解説を閲覧できるようにしていくことで、外国人観光客の利便性の向上に努めます。		
6 指標			

86年度 2024年度 実績	87年度 2025年度	88年度 2026年度	89年度 2027年度	810年度 2028年度	811年度 2029年度
二次元コード設置箇所数 箇所数 6箇所（R5年度）	7箇所	8箇所	9箇所	10箇所	11箇所
各年度実績	5箇所				
各年度評価	B				

7 令和7年度の活動予定	外国人観光客が多く訪れると見込まれる、本更津駅周辺に立地する指定文化財の解説用看板に多言語解説へ誘導する二次元コードを掲出します。
8 令和7年度の実績・課題	本更津駅周辺に所在する八幡八幡神社の標柱神社看板の指定文化財解説用看板に、多言語解説へ誘導する二次元コードを掲出しました。 【課題】 さらに利用時間を延ばられるようにします。
9 令和8年度の活動予定	新たに、本更津駅周辺に立地する指定文化財の解説用看板に二次元コードを掲出します。

※「6 指標」の「令和7年度の実績値」について、現時点で未実施であり、今後年度末までに実施する場合は、見込みとして入力すること。
また、その際には、「8 令和7年度の実績値（見込）」と書き換えること。
※各年度実績や令和7年度実績や課題、今年度年度末までの入力については年度末頃に改めて入力をお願いします。
※「6 指標 各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	判定基準
A	指標に対し、達成または順調に推移	設定した指標を達成している、または順調に推移している
B	指標に対し、一部遅れはあるが推移中	指標達成に向けた取組が進められており、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善が必要	指標に対する進捗が明確に不十分でかつ改善に向けた対応が必要

第3次本更津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	1、多様な地域資源の磨き上げによる付加価値化		
2 施策	(4)歴史・文化資源・芸術を活用したコンサート、アートイベントの実施		
3 主な取組	仮3歴史・文化・芸術に関する情報発信 【計画上の記載】 ・博物館に保管している文化財や地域資源等を、観覧会や情報誌などを開催し 紹介していくとともに、ガイドボランティアによる語り場設による観光客の 満足度の向上につなげます。	担当課 郷土博物館金のすず	
4 現状と課題	博物館に収蔵している資料には、まだ公開することができていない資料があるため、これらの資料を広く一般に提供することが必要です。		
5 取組内容	市ホームページや市公式SNS、広報紙やラジオ等各種媒体を活用し、特設展や企画展示及ところの重演会開館等の周知を行とともに、当館物語に関心を持ってもらい、郷土の歴史を知っていただく機会を増やすため、ミュージアムグッズを制作します。		
6 指標			

86年度 2024年度 実績	87年度 2025年度	88年度 2026年度	89年度 2027年度	810年度 2028年度	811年度 2029年度
郷土博物館金のすず入館者数 10,833人（R5年度）	11,500人	12,500人	12,600人	13,000人	13,404人
各年度実績	12,120人				
各年度評価	A				

7 令和7年度の活動予定	博物館内専物料でレベータの改修工事が終了したことから、7年間に特別展、重と書の企画展を開催するとともに、公開しきっていない資料の整理に努を進めます。 また、ミュージアム・グッズ（ピンバッジ博物館（60個）を製作し、1万から個内で販売します。
8 令和7年度の実績等（見込）	令和5年度から今年度まで新しい常設展示になった企画展「与謝野晶子と鉄道」、「戦後80年の重音として企画展「大東亜戦争の空襲や戦争と市民」、と2年ぶりの特別展である「1910の年表展」を開催しました。 ・この期間内を開催したミュージアム・グッズ（ピンバッジ）については市民向し、特別可能な常博物館施設に関する材料の検討に努めることができました。 【課題】 ・当館金の年間値として、家族連れ等の観年層、青年層を増やりために、SNSの活用をはじめ、入館しやすい工夫が必要です。
9 令和8年度の活動予定	各種展示・講座の開催について、より有効的な SNSを活用した広報活動を実施するなど、新たな来館者数の増加を図り立て。 また、ミュージアム・グッズについては、来館者のニーズを踏まえ企業・制作し、来館者の満足度向上を目指し、リピーター化増やすとともに更なる財源の確保に努めます。

※「6 指標」の「令和7年度の実績値」について、現時点で未実施であり、今後年度末までに実施する場合は、見込みとして入力すること。
また、その際には、「8 令和7年度の実績値（見込）」と書き換えること。
※各年度実績や令和7年度実績や課題、今年度年度末までの入力については年度末頃に改めて入力をお願いします。
※「6 指標 各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	判定基準
A	指標に対し、達成または順調に推移	設定した指標を達成している、または順調に推移している
B	指標に対し、一部遅れはあるが推移中	指標達成に向けた取組が進められており、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善が必要	指標に対する進捗が明確に不十分でかつ改善に向けた対応が必要

第3次本更津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	1．多様な地域資源の磨き上げによる付加価値化
2 施策	(4)歴史・文化資源・芸術文化用いたコンサート、アートイベントの実施
3 主な取組	市時計・仏壇の紹介案内 【計画上の位置】 ・本更津及び富津人口減少が見込まれた市内の名所を巡るモデルコースの紹介。 本市の歴史文化、海付け屋を本更津から来訪人が観覧出来て観光案内すること、観光通信にしつけます。
担当課	観光振興課
4 現状と課題	協会では、観光客への観光名所案内や市内の名所歴史の紹介を行っております。現状には八幡八幡神社の観覧等に出向き、観光客に声をかけるなど積極的に案内を行っていることから、観光客の来客数は増加しています。 一方、しかしながら、社協の観光名所名所歴史の紹介、内容説明は観覧等無料となるため、人材の育成に向けた取り組みや、市場調査等に新たな魅力を発掘することが求められています。
5 取組内容	観光案内の質を高めるため、協会において観光案内団体の研修会への参加や情報収集に取組を行うなど、人材の育成に努めます。 ・市においては、広報さらさら等各種広報媒体で各種の観光に向けた外出を行う旨が、利用者からガイド料金を徴収するなど、問題の解消策協議を試みる取り方を行っています。 また、モデルコースについては富士見通り再整備等のタイミングで対応しを図ります。
6 指標	

	6年度 2024年度 実績	7年度 2025年度	8年度 2026年度	9年度 2027年度	10年度 2028年度	11年度 2029年度
●来更津から富内人による観光案内件数						
から富内人利用者数	2,176人（R5年度）	2,280人	2,380人	2,480人	2,580人	2,680人
各年度実績	1,902人					
各年度評価	B					

7 令和7年度の活動予定	引き続き、観光案内を行う他、特定の場所の人の観光に向け、広報さらさらだけでなく、広報している。 また、富士見通り再整備等のタイミングで現在推進あるモデルコースを見直し、より良いコースにブラッシュアップします。
8 令和7年度の実績・課題	新たな富内人の観光に向けた高校生に聞きこさら問等及び地域実施しました。 コースの見直しについて、みち案内人協会に協議を行い、観光用紙に再整備後の富士見通りを追加することなどを進した。 【課題】 新たな富内人の観光の需要が課題となっています。
9 令和8年度の活動予定	引き続き、広報さらさら及び広報媒体を行うと共に、再度所法についてもみち案内人協会と協議を行います。 また、見直したコースについて申し込み状況等更新し、ニーズに合わせてコースを編成していきます。

※「8 令和7年度の実績等」について、現時点で未実施であり、今後年度末までに実施する場合は、見込みとして入力する。
また、その際には、「9 令和7年度の実績等(見込み)」と書き換えること。
※各年度実績や令和7年度実績や課題、令和8年度活動予定の入力については可る限り具体的な数値等の入力をお願いします。
※「6 指標 各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	判定基準
A	指標に対し、達成または順調に推移	設定した指標を達成している、または順調に推移している
B	指標に対し、一部遅れはあるが進捗中	指標達成に向けた取組が進んでおり、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善が必要	指標に対する進捗が明確に不十分でかつ改善に向けた対応が必要

第3次本更津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	1．多様な地域資源の磨き上げによる付加価値化
2 施策	(5)歴史・文化資源・芸術文化用いたコンサート、アートイベントの実施
3 主な取組	海辺延津市による観光誘客の推進 【計画上の位置】 ・令和7年度から令和8年度に、千葉県国主150周年記念事業の一環として開催される「日本遺産関連・西脇美アートフェス」について、来や国他に観光誘客を進め、広報連携により連携強化していくことで地域の魅力を発信し、地域活性化につなげています。
担当課	観光振興課
4 現状と課題	令和5年度から令和8年度に、千葉県国主150周年記念事業の一環として開催される「西脇美術館/内閣総理アートフェス」を、本来開催するはずの場所だけでなくまるから、協議・検討を行った結果、千葉県、市国市、本更津市、大多喜町の広域的な取組として、市民の交流にとどまらず観光誘客を図ることを、人材育成に向けて取り組みます。
5 取組内容	令和7年度に、基本計画の策定や、企画構成などの構成を具体化するためのイベント等を実施し、令和8年度から令和7年度から令和8年度に実施検証を行い、令和9年度以、継続新規に向け、市中国市等と協議・検討を進めます。
6 指標	

	5年度 2024年度 実績	6年度 2025年度	7年度 2026年度	8年度 2027年度	9年度 2028年度	10年度 2029年度
西脇美術館/内閣総理フェス 開催（R8.8月頃）	●基礎整備に向けた準備 ●企画構成・プレイベント実施 ●基礎整備、効果検証 ●継続開催に向けた協議・検討					
各年度実績	●未来志向型ビジョン策定 プレイベント企画					
各年度評価	A					

7 令和7年度の活動予定	令和8年度から令和9年度の協議内容実施に向けて、基本計画の策定や、企画構成などの構成を具体化するためのイベント等を実施します。
8 令和7年度の実績・課題	長期協議委員会委員委嘱後に、1月22日設立して現場基本方針、令和4年1月の報告で実施計画を策定しました。 また、イコマ・パーク・ヒロ現場調査企画予算確とシンクワーキ実施、報告書は2月に協議会委員に送付しました。 さらには、ジビエフェスやサーカーフェスティバルの内アーム広告により協議し、機運を醸成しました。 【課題】 「巨石群の構成で現出された歴史時代と関連の「自然環で作為を用るツアーの実施」に向けて、効果的な実行について動き出すことが今後の課題となります。
9 令和8年度の活動予定	令和8年1月に協議委員会を設立し、広報さらさら等や広報などを活用し、更なる周知活動を実施します。 また、令和8年1月設立の組織で検討された実施計画に記載の「自然環で作為を用るツアーの実施」に向けて、効果的な実行ができるよう動き出す計画します。

※「8 令和7年度の実績等」について、現時点で未実施であり、今後年度末までに実施する場合は、見込みとして入力する。
また、その際には、「9 令和7年度の実績等(見込み)」と書き換えること。
※各年度実績や令和7年度実績や課題、令和8年度活動予定の入力については可る限り具体的な数値等の入力をお願いします。
※「6 指標 各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	判定基準
A	指標に対し、達成または順調に推移	設定した指標を達成している、または順調に推移している
B	指標に対し、一部遅れはあるが進捗中	指標達成に向けた取組が進んでおり、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善が必要	指標に対する進捗が明確に不十分でかつ改善に向けた対応が必要

第3次本更津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	1．多様な地域資源の磨き上げによる付加価値化
2 施策	(5)道の駅「木更津うまくたの里」の活用
3 主な取組	⑩-1道の駅「木更津うまくたの里」への誘客推進 【計画上の位置】 ・海の都を地域住民や生産者と観光客が楽しい交流する拠点として活用し、農業振興及び観光振興を図ります。
担当課	農林水産課
4 現状と課題	富山エリアの観光拠点として平成8年に開設され、年間40万人以上利用されている施設である。 今後ますます、観光客の利用が見込まれるが、駐車場の拡張や、施設及び駐車場の拡張整備に向けた新しい計画案の検討に入っていること、また、道路が狭小で観光誘客が難しいことを課題として捉えています。
5 取組内容	施設及び駐車場の拡張に取り組むことで、利用者や来訪者の利用拡大を図るとともに、より一層、安心・安全かつ快適に利用できる環境を整備しリピーターの獲得を図ります。
6 指標	

	来場者数					
	5年度 2024年度 実績	6年度 2025年度	7年度 2026年度	8年度 2027年度	9年度 2028年度	10年度 2029年度
来場者数 4.7万人（R5年度）	5.5万人	6.0万人	6.2万人	6.4万人	6.6万人	
各年度実績	5.3万人					
各年度評価	B					

7 令和7年度の活動予定	利用者の安全面が安心・安全かつ快適に利用できるよう駐車場等の道路での連絡を図りつつ、不足している駐車場の拡張整備に取り組みます。
8 令和7年度の実績・課題	指定管理モニタリングを実施し、施設の維持管理や提供サービス状況を把握し、適正な管理運営が継続できるよう調整を図りました。 駐車場の拡張整備については、開発規模との問題に不利の問題を感じたことから令和8年度に継続し実施します。 また、繁忙期などの駐車場の不足を補うために、臨時仮設の照明などをするなど臨時管理者と相談しました。 【課題】 利用者が安心・安全でより快適に利用できる環境整備に取り組む必要があります。
9 令和8年度の活動予定	指定管理者の拡張整備に取組み、利用者や来訪者の利便性向上を図るとともに、より一層、安心・安全かつ快適に利用できるよう道路での連絡を図っていきます。

※「8 令和7年度の実績等」について、現時点で未実施であり、今後年度末までに実施する場合は、見込みとして入力する。
また、その際には、「9 令和7年度の実績等(見込み)」と書き換えること。
※各年度実績や令和7年度実績や課題、令和8年度活動予定の入力については可る限り具体的な数値等の入力をお願いします。
※「6 指標 各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	判定基準
A	指標に対し、達成または順調に推移	設定した指標を達成している、または順調に推移している
B	指標に対し、一部遅れはあるが進捗中	指標達成に向けた取組が進んでおり、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善が必要	指標に対する進捗が明確に不十分でかつ改善に向けた対応が必要

第3次本更津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	1．多様な地域資源の磨き上げによる付加価値化
2 施策	(5)道の駅「木更津うまくたの里」の活用
3 主な取組	⑩-2道の駅「木更津うまくたの里」の魅力向上 【計画上の位置】 ・地域の方々なる魅力向上に向けた拠点整備に合わせ、観光情報の発信拠点として機能強化を検討します。
担当課	観光振興課
4 現状と課題	富山エリアの観光拠点として、年間40万人以上利用されている施設であり、今後ますます、観光客の誘客を図ることが見込まれることから、施設の拡張整備に合わせ、観光情報発信拠点としての機能強化を図り、こちらを拠点の魅力につなげます。
5 取組内容	当施設のこちらなる魅力向上に向けた拠点整備に合わせ、観光情報の発信拠点としての機能強化を検討します。
6 指標	下記のうち当課の該当項目：AIによる観光案内の導入検討

	5年度 2024年度 実績	6年度 2025年度	7年度 2026年度	8年度 2027年度	9年度 2028年度	10年度 2029年度
	●駐車場の拡張 ●施設の拡張整備検討 ●AIによる観光案内の導入検討					
各年度実績	AIによる観光案内の導入検討					
各年度評価	B					

7 令和7年度の活動予定	AIによる観光案内について、先進自治体の状況を研究し、導入について検討します。
8 令和7年度の実績・課題	道の駅（物産直売）では来店客様の海外ができるAIカメラを利用し、利用状況の可視化ができたり、山口県や西本愛ちゃ口ヒヤットパットを導入して多言語対応することなど、導入後のインバウンド対応は現在になった印象深くあるとの声がありました。 【課題】 導入・維持管理コストの確保が必要となりました。
9 令和8年度の活動予定	事例を確認して情報収集していくと共に、導入した場合の予算面について把握し、コストパフォーマンス等検討します。

※「8 令和7年度の実績等」について、現時点で未実施であり、今後年度末までに実施する場合は、見込みとして入力する。
また、その際には、「9 令和7年度の実績等(見込み)」と書き換えること。
※各年度実績や令和7年度実績や課題、令和8年度活動予定の入力については可る限り具体的な数値等の入力をお願いします。
※「6 指標 各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	判定基準
A	指標に対し、達成または順調に推移	設定した指標を達成している、または順調に推移している
B	指標に対し、一部遅れはあるが進捗中	指標達成に向けた取組が進んでおり、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善が必要	指標に対する進捗が明確に不十分でかつ改善に向けた対応が必要

第3次本更津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	1．多様な地域資源の磨き上げによる付加価値化
2 施策	(5)道の駅「木更津うまくたの里」の活用
3 主な取組	⑩-3道の駅「木更津うまくたの里」の拡張整備 【計画上の位置】 ・地域の方々なる魅力向上に向けた拠点整備に合わせ、観光情報の発信拠点として機能強化を検討します。
担当課	農林水産課
4 現状と課題	当施設の慢性的な来場者数は増加傾向であり、年間40万人以上利用されている施設であり、今後ますます、観光客の誘客を図ることが見込まれることから、施設の拡張整備に合わせ、観光情報発信拠点としての機能強化を図り、こちらを拠点の魅力につなげます。
5 取組内容	当施設のこちらなる魅力向上に向けた拠点整備に合わせ、観光情報の発信拠点としての機能強化を検討します。
6 指標	下記のうち当課の該当項目：駐車場の拡張、施設の拡張整備検討

	5年度 2024年度 実績	6年度 2025年度	7年度 2026年度	8年度 2027年度	9年度 2028年度	10年度 2029年度
	●駐車場の拡張 ●施設の拡張整備検討 ●AIによる観光案内の導入検討					
各年度実績	駐車場計画及び駐車場拡張整備に係る現状調査の実施					
各年度評価	B					

7 令和7年度の活動予定	令和6年度に引き続き、第2駐車場の拡張整備に向けた実施設計に取り組むとともに、年度内の供用開始を計画し、拡張整備工事を実施します。
8 令和7年度の実績・課題	実施設計については、完了したものの、造成整備工事に伴う開発機関との調整に不測の時間を要したことから、事業に遅れが生じ、年度内の開場は7月頃となったが、令和8年度に継続し実施します。 【課題】 駐車場が不足していることから、早期利用開始に向け取組む必要があります。
9 令和8年度の活動予定	第2駐車場の拡張整備に取り組むとともに、施設の拡張整備に向け、庁内及び関係機関との調整を図ります。

※「8 令和7年度の実績等」について、現時点で未実施であり、今後年度末までに実施する場合は、見込みとして入力する。
また、その際には、「9 令和7年度の実績等(見込み)」と書き換えること。
※各年度実績や令和7年度実績や課題、令和8年度活動予定の入力については可る限り具体的な数値等の入力をお願いします。
※「6 指標 各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	判定基準
A	指標に対し、達成または順調に推移	設定した指標を達成している、または順調に推移している
B	指標に対し、一部遅れはあるが進捗中	指標達成に向けた取組が進んでおり、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善が必要	指標に対する進捗が明確に不十分でかつ改善に向けた対応が必要

第3次本更津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	1．多様な地域資源の磨き上げによる付加価値化
2 施策	(5)道の駅「木更津うまくたの里」の活用
3 主な取組	⑩-4道の駅「木更津うまくたの里」の拡張整備 【計画上の位置】 ・地域の方々なる魅力向上に向けた拠点整備に合わせ、観光情報の発信拠点として機能強化を検討します。
担当課	観光振興課
4 現状と課題	富山エリアの観光拠点として、年間40万人以上利用されている施設であり、今後ますます、観光客の誘客を図ることが見込まれることから、施設の拡張整備に合わせ、観光情報発信拠点としての機能強化を図り、こちらを拠点の魅力につなげます。
5 取組内容	当施設のこちらなる魅力向上に向けた拠点整備に合わせ、観光情報の発信拠点としての機能強化を検討します。
6 指標	下記のうち当課の該当項目：AIによる観光案内の導入検討

	5年度 2024年度 実績	6年度 2025年度	7年度 2026年度	8年度 2027年度	9年度 2028年度	10年度 2029年度
	●駐車場の拡張 ●施設の拡張整備検討 ●AIによる観光案内の導入検討					
各年度実績	AIによる観光案内の導入検討					
各年度評価	B					

7 令和7年度の活動予定	AIによる観光案内について、先進自治体の状況を研究し、導入について検討します。
8 令和7年度の実績・課題	道の駅（物産直売）では来店客様の海外ができるAIカメラを利用し、利用状況の可視化ができたり、山口県や西本愛ちゃ口ヒヤットパットを導入して多言語対応することなど、導入後のインバウンド対応は現在になった印象深くあるとの声がありました。 【課題】 導入・維持管理コストの確保が必要となりました。
9 令和8年度の活動予定	事例を確認して情報収集していくと共に、導入した場合の予算面について把握し、コストパフォーマンス等検討します。

※「8 令和7年度の実績等」について、現時点で未実施であり、今後年度末までに実施する場合は、見込みとして入力する。
また、その際には、「9 令和7年度の実績等(見込み)」と書き換えること。
※各年度実績や令和7年度実績や課題、令和8年度活動予定の入力については可る限り具体的な数値等の入力をお願いします。
※「6 指標 各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	判定基準
A	指標に対し、達成または順調に推移	設定した指標を達成している、または順調に推移している
B	指標に対し、一部遅れはあるが進捗中	指標達成に向けた取組が進んでおり、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善が必要	指標に対する進捗が明確に不十分でかつ改善に向けた対応が必要

第3次木更津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	2．立地の優位性を活かした誘客の推進	
2 施策	(6)回遊性の向上	
3 主な取組	市観光デジタルマップ「木更津おでかけナビ」の機能内容充実 【計画上の記載】 「木更津おでかけナビ」は、デジタルマップに観光スポットや飲食店、宿泊施設を掲載し一覧でのみるように表示でき、現在地から目的地までのルート案内機能や検索機能を備えており、観光スポットやイベント情報等の有効内容を更に充実していくことで、観光客の利便性向上を図り、観光誘客を促進します。	担当課 観光振興課
4 現状と課題	自己点検等で観光協会にも協力いただきながら、観光スポットの掲載充実に努めています。 ユーザーインプットの機能では、「掲載エリア数や検索時間の改善」を実施し、ご活用されていることから、観光情報をはじめ、イベント情報の掲載などを充実していく必要があります。	
5 取組内容	事業者向けに掲載情報を打っていくとともに、イベント等のタイムリーな情報を発信していくことで、掲載内容の充実を図っていきます。 また、「木更津おでかけナビ」の利用促進を図るため、イベント時でのテラン配布や観光施設等でPRを行っていきます。	

6 指標

8年度 2024年度 実績	9年度 2025年度	10年度 2026年度	11年度 2027年度	12年度 2028年度	13年度 2029年度
サイトのアクセス数 361,000件（令和4年度） 観光情報掲載スポット数 304件（令和5年度）	365,000件 318件	369,500件 330件	369,900件 335件	370,500件 330件	370,000件 335件

各年度実績	289,224件 217件				
各年度評価	A				

7 令和7年度の活動予定	事業者向けに掲載情報を打っていくとともに、イベント等のタイムリーな情報を発信していくことで、掲載内容の充実を図っていきます。 また、「木更津おでかけナビ」の利用促進を図るため、イベント時でのテラン配布や観光施設等でPRを行っていきます。
8 令和7年度の実績・課題	事業者向けに掲載情報を打っていくとともに、イベント等の掲載情報を充実させるとともに、イベント情報の掲載を充実していくことで調査を図ります。 また、大型連休に合わせた観光客誘致を図り、「木更津おでかけナビ」のサイトを PR するとともに、観光客の利用促進を図ります。 大型連休期（第1連休期）には、「木更津おでかけナビ」サイトの利用状況を把握するためアンケートの実施と各利用、観光客数を調査します。 木更津おでかけナビ スポット登録数21施設（12月31日現在） 【課題】 他団体や他民間のイベントの掲載数が少ないため、情報収集できる仕組みづくりが必要です。
9 令和8年度の活動予定	利用者アンケートの設置では、観光スポットを活用していないという回答に対して、イベント情報を充実させるなどいろいろな魅力多いため、市内で行われるイベントの情報を掲載できるような協力を検討し、掲載内容を充実させます。 また、毎年度の、大型連休に合わせた観光客誘致を行っていきます。

※「8 令和7年度の実績等」について、期間内で未実施であり、今後年度末までに実施する場合は、見込みとして入力すること。
また、その際には、「8 令和7年度の実績等(見込)」と書き換えること。
※各年度実績や令和7年度実績や課題、令和8年度活動予定の入力については可である限り具体的な数値等の入力をお願いします。
※「6 指標 各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	判定基準
A	指標に対し、達成または順調に進捗	設定した指標を達成している、または順調に進捗している
B	指標に対し、一部遅れはあるが進捗中	指標達成に向けた取組が進んでおり、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善の必要	指標に対する進捗が明確に不十分でかつ改善に向けた対応が必要

第3次木更津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	2．立地の優位性を活かした誘客の推進	
2 施策	(6)回遊性の向上	
3 主な取組	市内各地点でのイベント開催 【計画上の記載】 みなと魅力を活かした「木更津港まつり」や「KISARAZU PARK DAY FESTIVAL」等の各種イベントを開催することで、観光誘客を図るとともに、市内商店の集約し協力につなげます。	担当課 観光振興課
4 現状と課題	「木更津港まつり」や「KISARAZU PARK DAY FESTIVAL」を開催し、みなとの魅力を発信しています。 「KISARAZU PARK DAY FESTIVAL」は、天候の影響によりイベントやプログラムが中止となるケースがあることから、参加者は開催しているタイミングを見極めて、情報を受け取る側が、タイムリーに情報を収集する必要があります。	
5 取組内容	関係者と観光協会につながるイベント内容を検討し開催していくことで、内閣府の動向に繋がっていきます。 また、「KISARAZU PARK DAY FESTIVAL」は、開催日を検討し、プログラム内容について関係者と協議し、工夫を加らすことで、来場者の増加につなげます。	

6 指標

8年度 2024年度 実績	9年度 2025年度	10年度 2026年度	11年度 2027年度	12年度 2028年度	13年度 2029年度
●「みなとの魅力を活かした各種イベントの実施					

各年度実績	イベント実施 2件				
各年度評価	A				

7 令和7年度の活動予定	関係者と観光協会につながるイベント内容を検討し開催していくことで、内閣府の動向に繋がっていきます。 また、「KISARAZU PARK DAY FESTIVAL」は、開催日を変更するとともに、イベント時にアンケートを実施することで来場者のニーズを把握し、プログラムの充実を図ります。
8 令和7年度の実績・課題	「KISARAZU PARK DAY FESTIVAL」では、これまでの9月の開催から10月に開催日を変更したことで、イベントを開催することができました。 また、ステージプログラムを充実し、ダンス、市内高等学校吹奏楽部の演奏のみではなく、和太鼓等の新しい要素を加えることで、集客につながりました。 【課題】 開時間延し、木更津チナコラルバルのアンケートと兼ねて実施したため、内容が不十分であり、ニーズの把握が難しかったため、内容内容とが必要です。 アンケート回収目標：３００人
9 令和8年度の活動予定	「KISARAZU PARK DAY FESTIVAL」では、イベントエリア内のプログラム内容を関係者と協議し充実させます。 また、来場者アンケート内容を見直し、来場者のニーズを把握するとともに、課題を改善します。

※「8 令和7年度の実績等」について、期間内で未実施であり、今後年度末までに実施する場合は、見込みとして入力すること。
また、その際には、「8 令和7年度の実績等(見込)」と書き換えること。
※各年度実績や令和7年度実績や課題、令和8年度活動予定の入力については可である限り具体的な数値等の入力をお願いします。
※「6 指標 各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	判定基準
A	指標に対し、達成または順調に進捗	設定した指標を達成している、または順調に進捗している
B	指標に対し、一部遅れはあるが進捗中	指標達成に向けた取組が進んでおり、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善の必要	指標に対する進捗が明確に不十分でかつ改善に向けた対応が必要

第3次木更津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	2．立地の優位性を活かした誘客の推進	
2 施策	(6)回遊性の向上	
3 主な取組	広域関係者と連携したドライブマップの作成やスタンプラリーの実施 【計画上の記載】 「関係事業者」にパンフレットを届けて各地、とまるなどな情報を掲載したちらシマップ等の制作を進めたりするとともに、事業関係等と連携しスタンプラリーを実施することで、回遊促進を図ります。	担当課 観光振興課
4 現状と課題	大型観光施設とまとまり、ブルーベリー園、いちご園）の連携がスタンプラリーを実施し、各施設の相互連携や市内の回遊性向上につなげています。 【課題】 「関係事業者」にパンフレットに関しての連絡が不足しているため、情報収集手段・観光推進等の関係者協議していく必要があります。	
5 取組内容	大型観光施設がスタンプラリーを実施する度、誘客狙い等観光推進（ブルーベリー園、いちご園）に協力を依頼していくとともに、クラブ組織や市公式SNS等を用いた情報発信を行うことで回遊促進につなげます。 また、回遊事業者との連携を図り、パンフレットを制作し協力していく取組を行っていきます。	

6 指標

8年度 2024年度 実績	9年度 2025年度	10年度 2026年度	11年度 2027年度	12年度 2028年度	13年度 2029年度
●関係内容検討・実施 スタンプラリー実施件数 3件（R5年度）	●３件以上				

各年度実績	1 件				
各年度評価	B				

7 令和7年度の活動予定	大型観光施設にスタンプラリーの実施を要望し、誘客狙い等観光推進（ブルーベリー園、いちご園）に参加協力を依頼するとともに、集客施策等へチラシの配布や市公式SNSを活用し情報発信を行います。 また、回遊事業者に、市内の回遊に対するとっての情報の掲載を依頼します。
8 令和7年度の実績・課題	三井アウトレットパークを要望活動により、三井アウトレットパーク木更津といった大型のスタンプラリーを実施しただけでなく、参加人数がつかない状況でした。また、誘客狙い等ブルーベリー園などのスタンプラリーの実施を働きかけましたが、実施に至りませんでした。 【課題】 回遊事業者に対応をとっていただけず、ブログを受取りたくスタンプラリーの実施を始めいただいておりますが、観光協会及びの観光協会の連携協力がありつ、ヘルに合致した実施が難しい状況です。 民間事業者への観光情報の提供協働については、協力いただける事業者を増やしていく必要があります。
9 令和8年度の活動予定	ブルーベリー園やの誘引狙いのスタンプラリーを実施できないが事務局協議に協力を依頼します。 また、引き続きの三井アウトレットパーク木更津などの事業施設に木更津までおかけナビのQRコードの設置を働きかけます。引用記事を提供します。 また、民間事業者のホームページに木更津までおかけナビのリンク掲載などを活発協力を依頼します。

※「8 令和7年度の実績等」について、期間内で未実施であり、今後年度末までに実施する場合は、見込みとして入力すること。
また、その際には、「8 令和7年度の実績等(見込)」と書き換えること。
※各年度実績や令和7年度実績や課題、令和8年度活動予定の入力については可である限り具体的な数値等の入力をお願いします。
※「6 指標 各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	判定基準
A	指標に対し、達成または順調に進捗	設定した指標を達成している、または順調に進捗している
B	指標に対し、一部遅れはあるが進捗中	指標達成に向けた取組が進んでおり、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善の必要	指標に対する進捗が明確に不十分でかつ改善に向けた対応が必要

第3次木更津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	2．立地の優位性を活かした誘客の推進	
2 施策	(6)回遊性の向上	
3 主な取組	⑤-2富士見通りの再整備 【計画上の記載】 「パークベイプロジェクトの一環として、木更津駅と港をつなぐ富士見通りの再整備を「市街地再生事業」として実施し、誘客を図ります。	担当課 土木課
4 現状と課題	現在、歩道の整備工事を行っている状況ですが、富士見通り周辺にて、アーケード改修工事、商店街外工事、木造商店改工事及び、電線地中化工事が予定されています。現段階は歩行者の通行を優先したうえで工事を実施する必要があります。 今後の方向性としては、工程調整会議を行い、通行時間に努めます。	
5 取組内容	パークベイプロジェクトの一環として、木更津駅と港をつなぐ富士見通りの整備を行い、賑の場が良く、歩きたくなる並木づくりを行うことで、回遊性の向上を図ります。	

6 指標

下記のうち当課の該当項目：街電柱化、歩道再整備、車道舗装

8年度 2024年度 実績	9年度 2025年度	10年度 2026年度	11年度 2027年度	12年度 2028年度	13年度 2029年度
●街電柱化 ●アーケード撤去 ●歩道再整備 ●車道舗装					

当年度実施予定 各年度実績	歩道再整備工事（一部） 道路非常法線工事	（令和5年度繰越予定） 歩道再整備工事（一部） 道路バリアフリー、カラー舗装	（令和5年度実施予定） 車道舗装	（令和7年度実施予定） 車道舗装	
各年度評価	B				

7 令和7年度の活動予定	富士見通りの歩道再整備工事を行います。
8 令和7年度の実績・課題	富士見通りの街再整備については、関連するアーケード撤去工事等との工程調整を行いながら、歩道舗装、街灯の設置及び道路非常法線の設置を実施しました。 【課題】 令和7年度繰越になった工事について、工程調整を行いながらベンチ等の設置やカラー舗装を完了させます。
9 令和8年度の活動予定	令和7年度に実施できなかった工程調整が完了し、ベンチ、カラー舗装を行いたいとしています。また、街灯設置やベンチ、フェルターター等の補助物の設置に加え、道路沿を有するカラー舗装の舗装を行う予定です。

※「8 令和7年度の実績等」について、期間内で未実施であり、今後年度末までに実施する場合は、見込みとして入力すること。
また、その際には、「8 令和7年度の実績等(見込)」と書き換えること。
※各年度実績や令和7年度実績や課題、令和8年度活動予定の入力については可である限り具体的な数値等の入力をお願いします。
※「6 指標 各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	判定基準
A	指標に対し、達成または順調に進捗	設定した指標を達成している、または順調に進捗している
B	指標に対し、一部遅れはあるが進捗中	指標達成に向けた取組が進んでおり、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善の必要	指標に対する進捗が明確に不十分でかつ改善に向けた対応が必要

第3次木更津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	2．立地の優位性を活かした誘客の推進	
2 施策	(6)回遊性の向上	
3 主な取組	⑤-1富士見通りの再整備 【計画上の記載】 「パークベイプロジェクトの一環として、木更津駅と港をつなぐ富士見通りの整備を行い、賑の場が良く、歩きたくなる並木づくりを行うことで、回遊性の向上を図ります。	担当課 産業振興課
4 現状と課題	令和5年10月からアーケードの撤去工事に着手し、令和7年3月までに工期の撤去が完了しましたが、地中の基礎が想定と異なっていたことから、工期が当初の変更に合わせ、完成時期を来年10月まで延長しました。	
5 取組内容	パークベイプロジェクト推進事業と位置部付、アーケードの実施者である木更津富士見通り商店街振興組合と市で検討している「アーケード撤去に係る協定」に基づき工事を実施します。	

6 指標

下記のうち当課の該当項目：アーケード撤去

8年度 2024年度 実績	9年度 2025年度	10年度 2026年度	11年度 2027年度	12年度 2028年度	13年度 2029年度
●街電柱化 ●アーケード撤去 ●歩道再整備 ●車道舗装					

各年度実績	撤去完了				
各年度評価	A				

7 令和7年度の活動予定	引き続き関係所有者等と連絡を図り、令和7年7月に全工事が完了しました。また、令和7年11月に木更津市富士見通り商店街振興組合へ引き渡可能な状態にて、負担金の精算が協議され無事に完了となりました。
8 令和7年度の実績・課題	【課題】 事業完了済みのため課題はありません。
9 令和8年度の活動予定	事業完了済みのため活動予定はありません。

※「8 令和7年度の実績等」について、期間内で未実施であり、今後年度末までに実施する場合は、見込みとして入力すること。
また、その際には、「8 令和7年度の実績等(見込)」と書き換えること。
※各年度実績や令和7年度実績や課題、令和8年度活動予定の入力については可である限り具体的な数値等の入力をお願いします。
※「6 指標 各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	判定基準
A	指標に対し、達成または順調に進捗	設定した指標を達成している、または順調に進捗している
B	指標に対し、一部遅れはあるが進捗中	指標達成に向けた取組が進んでおり、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善の必要	指標に対する進捗が明確に不十分でかつ改善に向けた対応が必要

第3次木更津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	2．立地の優位性を活かした誘客の推進	
2 施策	(6)回遊性の向上	
3 主な取組	⑤-1富士見通り場の活用 【計画上の記載】 「再整備された富士見通りの活用や、木更津駅付近周辺はもとより広域的な観点に現状なっての視点は（江川地区観光地域）・長浦公園・木更津駅周辺・（釜台金鈴地）を基軸とした回遊性向上の仕掛けづくりを、関係関係者等と連携しながら検討していきます。	担当課 地域政策課
4 現状と課題	東京湾アクアラインの整備できる者は電話は、大規模商業や観光施設等への来訪者でも、ポテンいてるものの、海を見渡すもとの、また、歩道整備工事予定されていない状況にあります。 木更津駅付近はもとより、長浦地区（江川地区観光地域）・長浦公園・木更津駅周辺・（釜台金鈴地）を基軸とし、来住・活動したいに加える魅力を創出し、にぎわいの創出拠点を図る必要があります。	
5 取組内容	再整備する富士見通りの活用や、木更津駅付近周辺はもとりづくり基本構想に掲げる4つの重点地区（江川地区観光地域）・長浦公園・木更津駅周辺・（釜台金鈴地）を基軸とした回遊性向上の仕掛けづくりを進めます。	

6 指標

下記のうち当課の該当項目：歩行者利便増進道路（はこみち）指定に係る協議・調整、民間事業者等と連携協議

8年度 2024年度 実績	9年度 2025年度	10年度 2026年度	11年度 2027年度	12年度 2028年度	13年度 2029年度
●歩行者利便増進道路（はこみち）指定に係る協議・調整 ●民間事業者等と協議検討 ●イベント等での活用					

各年度実績	はこみち利用ルール（案）の協議・検討				
各年度評価	B				

7 令和7年度の活動予定	木更津駅付近周辺はもとりづくり基本構想に掲げる4つの重点地区（江川地区観光地域）・長浦公園・木更津駅周辺・（釜台金鈴地）を基軸とした回遊性向上の仕掛けづくりを進めます。
8 令和7年度の実績・課題	昨年で開通された木更津市中心市街地活性化協議会・富士見通り活性化委員会の協議を通じて、歩行者利便増進道路（はこみち）のルール（案）について協議・検討を行い、再整備後の富士見通りの歩道を活用した回遊性向上の仕掛けづくりに取り組みました。 【課題】 歩行者利便増進道路（はこみち）の占用に係る管理体制等の課題を解決するため、関係機関との継続的な協議・検討が必要です。
9 令和8年度の活動予定	引き続き、木更津市中心市街地活性化協議会・富士見通り活性化委員会の協議を通じて、再整備後の富士見通りの有効活用についてイベントの開催・調査等を通じ、利活用を促進していくとともに、木更津駅周辺等の駅前市民に向けて取り組みます。

※「8 令和7年度の実績等」について、期間内で未実施であり、今後年度末までに実施する場合は、見込みとして入力すること。
また、その際には、「8 令和7年度の実績等(見込)」と書き換えること。
※各年度実績や令和7年度実績や課題、令和8年度活動予定の入力については可である限り具体的な数値等の入力をお願いします。
※「6 指標 各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	判定基準
A	指標に対し、達成または順調に進捗	設定した指標を達成している、または順調に進捗している
B	指標に対し、一部遅れはあるが進捗中	指標達成に向けた取組が進んでおり、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善の必要	指標に対する進捗が明確に不十分でかつ改善に向けた対応が必要

第3次木更津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	2. 立地の優位性を活かした誘客の推進							
2 施策	(6)周遊性の向上							
3 主な取組	①-2富士見通り等の活用 【到達とのズレ】 ・再整備される富士見通りの活用や、木更津駅前地区ふちづくり基本構想に掲げるまちの基本方針に掲げるまちの魅力の創出を継続した周遊性向上につながる仕掛けづくりを、民間事業者等と連携し検討していく必要があります。							担当課 観光振興課
4 現状と課題	みなとを活かした内容や、木更津駅周辺でイベントを開催することで観光誘客を図っていますが、再整備される富士見通りや、木更津駅前地区ふちづくり基本構想に掲げるまちの魅力の創出を継続した周遊性向上につながる仕掛けづくりを、民間事業者等と連携し検討していく必要があります。							
5 取組内容	再整備される富士見通りや、木更津駅前地区ふちづくり基本構想に掲げるまちの基本地区を基軸とした周遊性向上につながる仕掛けづくりを、関係事業者等と連携し検討していく必要があります。							
6 指標	下記のうち当課の該当項目：イベント等での活用 R6年度 2024年度 実績 / R7年度 2025年度 / R8年度 2026年度 / R9年度 2027年度 / R10年度 2028年度 / R11年度 2029年度 ●歩行者利便増進道路（ほこみち）指定に係る協議・調整 ●民間事業者等に活用検討 ●イベント等での活用							
	各年度実績	協議・検討						
	各年度評価	B						
7 令和7年度の活動予定	令和7年度から、再整備された富士見通りでイベント等を実施できるよう、イベント内容や活用方法を民間事業者等と検討します。							
8 令和7年度の実績・課題	みなとまち木更津経済協議会で実施しているイベント（木更津チチコラバル）を再整備された富士見通りで実施できないか、富士見通り活性化部会及び民間事業者に働きかけを行いました。 【課題】 中心市街地活性化協議会 富士見通り活性化部会の事業と重複するため、整理が必要です。							
9 令和8年度の活動予定	みなとまち木更津経済協議会で実施しているイベント（木更津チチコラバル）を再整備された富士見通りで実施できるよう関係者と検討を行い実施します。							

※「8 令和7年度の実績等」について、現時点で未実施であり、今後年度末までに実施する場合は、見込みとして入力すること。
また、その際には、「8 令和7年度の実績等(見込)」と書き換えること。
※各年度実績や令和7年度実績予算額、令和8年度活動予定の入力については出来る限り具体的な数値等の入力をお願いします。
※「6 指標 各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	判定基準
A	指標に対し、達成または期日に進捗	設定した指標を達成している、または期日に進捗している
B	指標に対し、一部遅れはあるが進捗中	指標達成に向けた取組が進んでおり、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善が必要	指標に対する進捗が明確に不十分でかつ改善に向けた対応が必要

第3次木更津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	2. 立地の優位性を活かした誘客の推進							
2 施策	(6)周遊性の向上							
3 主な取組	①-2富士見通り等の活用 【到達とのズレ】 ・再整備される富士見通りの活用や、木更津駅前地区ふちづくり基本構想に掲げるまちの基本方針に掲げるまちの魅力の創出を継続した周遊性向上につながる仕掛けづくりを、民間事業者等と連携し検討していく必要があります。							担当課 観光振興課
4 現状と課題	「東京湾アクアライン」の整備効果を活用するため、大型商業施設や観光施設への来訪者だけで終わっているものの、富士見通り等をはじめとする中心市街地等への回遊は十分に図られていない状況にあります。 ・木更津駅前地区ふちづくり基本構想に掲げるまちの基本方針（「三川総合連動地区」、「台宗公園・木更津駅前広場・日竹宮前通」）を基軸とし、周辺・接続したいと思える魅力を創出し、にぎわいの創出拡大を図る必要があります。							
5 取組内容	木更津駅前地区ふちづくり基本構想に掲げるまちの基本方針（「三川総合連動地区」、「台宗公園・木更津駅前広場・日竹宮前通」）のうちを想定構築区域について、富士見通り活性化部会に諮り、魅力のある連続的空間を構築するため、歩行者利便増進道路制度（通称：ほこみち制度）を活用し周遊性向上の仕掛けづくりを進めます。							
6 指標	下記のうち当課の該当項目：歩行者利便増進道路（ほこみち）指定に係る協議・調整 R6年度 2024年度 実績 / R7年度 2025年度 / R8年度 2026年度 / R9年度 2027年度 / R10年度 2028年度 / R11年度 2029年度 ●歩行者利便増進道路（ほこみち）指定に係る協議・調整 ●民間事業者等に活用検討 ●イベント等での活用							
	各年度実績	歩行者利便増進道路の協議中						
	各年度評価	B						
7 令和7年度の活動予定	引き続き、関係団体等と高三見通りのお歩行者利便増進道路（ほこみち）指定に係る協議・調整を行います。							
8 令和7年度の実績・課題	歩行者利便増進道路の指定に向けて関係業態者等と協議中。 【課題】 ・ほこみち制度について、民間事業者等へ広く周知を行い、ほこみちスペースの利活用を促進する必要があります。							
9 令和8年度の活動予定	民間事業者等とイベント等による活用について調整を行います。							

※「8 令和7年度の実績等」について、現時点で未実施であり、今後年度末までに実施する場合は、見込みとして入力すること。
また、その際には、「8 令和7年度の実績等(見込)」と書き換えること。
※各年度実績や令和7年度実績予算額、令和8年度活動予定の入力については出来る限り具体的な数値等の入力をお願いします。
※「6 指標 各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	判定基準
A	指標に対し、達成または期日に進捗	設定した指標を達成している、または期日に進捗している
B	指標に対し、一部遅れはあるが進捗中	指標達成に向けた取組が進んでおり、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善が必要	指標に対する進捗が明確に不十分でかつ改善に向けた対応が必要

第3次木更津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	2. 立地の優位性を活かした誘客の推進							
2 施策	(7)インバウンドの推進							
3 主な取組	①アジア諸国をターゲットとしたプロモーション 【到達とのズレ】 ・本年度から国の外国人のうち、7割を占めるアジア諸国等をなターゲットとして、本市観光の強減資源を活かし、近隣地域との連携を図ったプロモーションを実施します。							担当課 観光振興課
4 現状と課題	・千葉県が主導する海外プロモーションに参加し、現地業者やクリアランスによる多くの方々に市民参観団体や大規模集団及び来さることをリーダスポイントと、現地にて観光誘致を行っています。 ・現地にて、プロモーションをおこなう国内者との連携が必ずしもこれ解けられます。							
5 取組内容	・県や近隣市と連携し海外市場の状況等を情報共有することで、より効果的なPR活動や各国人観光客の誘致の仕掛けづくりを行います。 ・また、千葉県が主導する海外プロモーションに参加し、現地の旅行会社や旅行者に対して直接、効果的なプロモーションを行います。							
6 指標	R6年度 2024年度 実績 / R7年度 2025年度 / R8年度 2026年度 / R9年度 2027年度 / R10年度 2028年度 / R11年度 2029年度 外国人宿泊数 17,000人（R5年度）[16,373人] 2段：アジア諸国 下段：全体 90,200人 [85,400人] / 95,800人 [89,300人] / 95,100人 [88,300人] / 97,600人 [91,100人] / 98,400人 [94,900人]							
	各年度実績	19,100人 [18,922人]						
	各年度評価	B						
7 令和7年度の活動予定	県や近隣市が主催するインバウンドセミナーに参加し、インバウンド誘致に係る情報収集を行うとともに、千葉県が主催する海外プロモーションに参加し、現地旅行会社や旅行者に対して効果的なプロモーションを実施します。							
8 令和7年度の実績・課題	セミナーに参加、情報収集を行い、令和3年1月19日～22日まで台湾プロモーションに参加しました。 【課題】 ・台湾、香港の旅行者はそれぞれニーズが異なるため、効果的なプロモーション方法を検討する必要があります。 例）海洋つり客は大会毎に観覧席の旅行業所確保など							
9 令和8年度の活動予定	インバウンドセミナー等に参加し、引き続き情報収集を行うとともに、現地情報から効果的なプロモーションを検討します。							

※「8 令和7年度の実績等」について、現時点で未実施であり、今後年度末までに実施する場合は、見込みとして入力すること。
また、その際には、「8 令和7年度の実績等(見込)」と書き換えること。
※各年度実績や令和7年度実績予算額、令和8年度活動予定の入力については出来る限り具体的な数値等の入力をお願いします。
※「6 指標 各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	判定基準
A	指標に対し、達成または期日に進捗	設定した指標を達成している、または期日に進捗している
B	指標に対し、一部遅れはあるが進捗中	指標達成に向けた取組が進んでおり、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善が必要	指標に対する進捗が明確に不十分でかつ改善に向けた対応が必要

第3次木更津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	2. 立地の優位性を活かした誘客の推進							
2 施策	(7)インバウンドの推進							
3 主な取組	②多言語交通案内の対応＜再掲＞ 【到達とのズレ】 ・指定交通に設置している解説用看板に二次元コードを掲出し、多言語（英語・中国語・韓国語）による解説を閲覧できるようにしていくことで、外国人観光客の利便性の向上につなげていきます。							担当課 文化課
4 現状と課題	・指定文化財に解説用看板を設置していますが、日本語表記の解説文のみであり、多言語（英語・中国語・韓国語）の解説文がありません。 ・そのため、外国人観光客に魅力が伝わらない状況となっています。							
5 取組内容	・指定文化財に設置している解説用看板に二次元コードを掲出し、多言語（英語・中国語・韓国語）による解説を閲覧できるようにしていくことで、外国人観光客の利便性の向上に努めます。							
6 指標	R6年度 2024年度 実績 / R7年度 2025年度 / R8年度 2026年度 / R9年度 2027年度 / R10年度 2028年度 / R11年度 2029年度 二次元コード案内看板設置数 6箇所（R5年度） / 7箇所 / 8箇所 / 9箇所 / 10箇所 / 11箇所							
	各年度実績	5箇所						
	各年度評価	B						
7 令和7年度の活動予定	・外国人観光客が多く訪れると見込まれる、木更津駅周辺に位置する指定文化財の解説用看板に多言語解説が表示する二次元コードを掲出します。							
8 令和7年度の実績・課題	木更津駅前に所在する八幡八幡神社の相木神装飾品の指定文化財解説用看板に、多言語解説へ表示する二次元コードを掲出しました。 【課題】 ・さらに観光時期を早められるようにします。							
9 令和8年度の活動予定	新たに、木更津駅周辺に立地する指定文化財の解説用看板に二次元コードを掲出します。							

※「6 令和7年度の実績等」について、現時点で未実施であり、今後年度末までに実施する場合は、見込みとして入力すること。
また、その際には、「8 令和7年度の実績等(見込)」と書き換えること。
※各年度実績や令和7年度実績予算額、令和8年度活動予定の入力については出来る限り具体的な数値等の入力をお願いします。
※「6 指標 各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	判定基準
A	指標に対し、達成または期日に進捗	設定した指標を達成している、または期日に進捗している
B	指標に対し、一部遅れはあるが進捗中	指標達成に向けた取組が進んでおり、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善が必要	指標に対する進捗が明確に不十分でかつ改善に向けた対応が必要

第3次木更津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	2. 立地の優位性を活かした誘客の推進							
2 施策	(8)来訪促進施策							
3 主な取組	①国際会議や大会等の誘致活動の実施 【到達とのズレ】 ・観光庁やJNTO、ちば国際コンベンションビューロー等と連携し、本市の特色を領域的に押して誘致を推進します。							担当課 観光振興課
4 現状と課題	・国際会議やそれ以外の企業会議等についても積極的に誘致はあるものの、千葉県内の他の国際会議観光都市に比べると国際会議の開催件数が少なくなっています。 ・また、多くの予算から会場までの交通手段が十分としていることや、誘致活動に当時でも開催認定がないことが要因です。							
5 取組内容	・観光庁やJNTO、ちば国際コンベンションビューロー等と連携し、本市の特色を領域的に押して誘致を推進します。							
6 指標	R6年度 2024年度 実績 / R7年度 2025年度 / R8年度 2026年度 / R9年度 2027年度 / R10年度 2028年度 / R11年度 2029年度 国際会議の開催件数 7件 ●7件以上 ●8件以上							
	各年度実績	1件						
	各年度評価	B						
7 令和7年度の活動予定	実際に誘致活動をしているちば国際コンベンションビューロー国際会議の開催地としての最新のニーズや本市の課題、誘致の流れとなる市の最新情報について共有し、誘致活動に活用できる。							
8 令和7年度の実績・課題	国際コンベンションビューローとは、2月に本市で開催されたCIIBA MICE(MICE人材育成)に関する打合せ時に、最新状況などや本市の課題等、情報共有を行いました。 【課題】 ・国際会議の開催件数が令和1年度は1件のため、二次交通の補助制度の検討や誘致に必要な情報を今後も収集していく必要があります。							
9 令和8年度の活動予定	引き続き、国際コンベンションビューローと情報共有等を密に行うとともに、補助制度の検討を行い国際会議誘致に向け取り組んでまいります。							

※「8 令和7年度の実績等」について、現時点で未実施であり、今後年度末までに実施する場合は、見込みとして入力すること。
また、その際には、「8 令和7年度の実績等(見込)」と書き換えること。
※各年度実績や令和7年度実績予算額、令和8年度活動予定の入力については出来る限り具体的な数値等の入力をお願いします。
※「6 指標 各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	判定基準
A	指標に対し、達成または期日に進捗	設定した指標を達成している、または期日に進捗している
B	指標に対し、一部遅れはあるが進捗中	指標達成に向けた取組が進んでおり、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善が必要	指標に対する進捗が明確に不十分でかつ改善に向けた対応が必要

第3次木更津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	2. 立地の優位性を活かした誘客の推進							
2 施策	(8)来訪促進施策							
3 主な取組	②国際会議や大会等の誘致活動の強化 【到達とのズレ】 ・国際会議やそれ以外の企業会議等についても積極的に誘致はあるものの、千葉県内の他の国際会議観光都市に比べると国際会議の開催件数が少なくなっています。 ・また、多くの予算から会場までの交通手段が十分としていることや、誘致活動に当時でも開催認定がないことが要因です。							担当課 観光振興課
4 現状と課題	観光庁やJNTO、ちば国際コンベンションビューロー等と連携し、本市の特色を領域的に押して誘致を推進します。							
5 取組内容	国際会議誘致に関する情報収集を行うとともに、現地情報から効果的なプロモーションを検討します。							
6 指標	R6年度 2024年度 実績 / R7年度 2025年度 / R8年度 2026年度 / R9年度 2027年度 / R10年度 2028年度 / R11年度 2029年度 国際会議の開催件数 7件 ●7件以上 ●8件以上							
	各年度実績	1件						
	各年度評価	B						
7 令和7年度の活動予定	実際に誘致活動をしているちば国際コンベンションビューロー国際会議の開催地としての最新のニーズや本市の課題、誘致の流れとなる市の最新情報について共有し、誘致活動に活用できる。							
8 令和7年度の実績・課題	国際コンベンションビューローとは、2月に本市で開催されたCIIBA MICE(MICE人材育成)に関する打合せ時に、最新状況などや本市の課題等、情報共有を行いました。 【課題】 ・国際会議の開催件数が令和1年度は1件のため、二次交通の補助制度の検討や誘致に必要な情報を今後も収集していく必要があります。							
9 令和8年度の活動予定	引き続き、国際コンベンションビューローと情報共有等を密に行うとともに、補助制度の検討を行い国際会議誘致に向け取り組んでまいります。							

※「8 令和7年度の実績等」について、現時点で未実施であり、今後年度末までに実施する場合は、見込みとして入力すること。
また、その際には、「8 令和7年度の実績等(見込)」と書き換えること。
※各年度実績や令和7年度実績予算額、令和8年度活動予定の入力については出来る限り具体的な数値等の入力をお願いします。
※「6 指標 各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	判定基準
A	指標に対し、達成または期日に進捗	設定した指標を達成している、または期日に進捗している
B	指標に対し、一部遅れはあるが進捗中	指標達成に向けた取組が進んでおり、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善が必要	指標に対する進捗が明確に不十分でかつ改善に向けた対応が必要

第3次木更津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	2．立地の優位性を活かした誘客の推進
2 施策	(8)MICE誘致推進
3 主な取組	⑧MICE誘致に係る補助制度の導入 【計画上の記載】 ・会議誘致での公共交通への補助やグリーン化区補助など、MICE関係者を対象とする補助額の導入などを、検討していきます。	担当課：観光振興課
4 現状と課題	海から自然環境を有する本市で国際会議を開催することについて一定の評価がある一方、MICE関係に係る補助制度がないことから、国際会議等の開催件数が市内の経済波及効果や広報効果に結びつくとは言いがたい状況です。	
5 取組内容	補助制度の導入に向け、千葉県など先進自治体の導入事例等を調査します。	
6 指標	8年度 2024年度 実績 / 7年度 2025年度 / 8年度 2026年度 / 9年度 2027年度 / 10年度 2028年度 / 11年度 2029年度 ●補助制度検討 / ●補助金要綱策定・制度構築 / ●制度運用開始 各年度実績：情報収集 各年度評価：B	
7 令和7年度の活動予定	補助制度の導入に向け、千葉県など先進自治体の導入事例等を調査します。	
8 令和7年度の実績・課題	市内の補助制度など導入事例を調査しました。（千葉市、流山市等） 【課題】 ・経済の増収等に向けた物産収集を伴う給付を行うとともに、国際コンシェルジュローローとの連携を密にしていく必要があります。	
9 令和8年度の活動予定	引き続き導入事例を調査し、補助制度の導入について検討します。	

※「8 令和7年度の実績等」について、現時点で未実施であり、令和年度末までに実施する場合は、見込みとして入力すること。
また、その際には、「8 令和7年度の実績等(見込)」と書き換えること。
※各年度実績や令和7年度実績や課題、令和8年度活動予定の入力については、できる限り具体的な数値等の入力をお願いします。
※「6 指標　各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	判定基準
A	指標に対し、達成または目標値に進捗	設定した目標を達成している、または目標に進捗している
B	指標に対し、一部遅れはあるが進捗中	指標達成に向けた取組が進んでおり、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善が必要	指標に対する進捗が明確に不十分でかつ改善に向けた対応が必要

第3次木更津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	2．立地の優位性を活かした誘客の推進
2 施策	(9)スポーツツーリズムの推進
3 主な取組	⑨-1スポーツイベントにおける70の実施 【計画上の記載】 ・ちばアクアラインマラソンや木更津トライアスロンをはじめ、民間が主催するスポーツイベントに対して、本市の観光所を行うとともに、市内飲食店や観光施設の利用の促進を図ります。	担当課：スポーツ振興課
4 現状と課題	木更津トライアスロンは市民飲食店の協賛を継続し、恵の年を行いました。 ちばアクアラインマラソンはウルトラコースアドバンスの試験の導入、大会プログラム運営時にスポーツ振興課で作成した市の観光チラシを同封するなど、参加者への周知を図りました。	
5 取組内容	市外からの来訪者が増えるスポーツイベントの機、観光チラシや広報などを効果的ツールを効果的に活用することにより、市の魅力発信や市民周遊へつなげます。	
6 指標	7年度 2024年度 実績 / 8年度 2025年度 / 9年度 2026年度 / 10年度 2027年度 / 11年度 2028年度 / 12年度 2029年度 ちばアクアラインマラソンの予定 ●実 施 / ●実 施 / ●実 施 木更津トライアスロンの予定 ●実 施 各年度実績：木更津トライアスロン（参加者1654名） 各年度評価：A	
7 令和7年度の活動予定	木更津トライアスロン参加者へ電子地域通貨アクアコインを配布し、市内の周遊及び消費を促進し、民間が主催する大型スポーツイベントでは、他課と連携し周辺に市内周遊を図るイベントを行います。	
8 令和7年度の実績・課題	木更津トライアスロン参加者へ電子地域通貨アクアコイン特別ポイント分を付与し、市内の周遊と消費活動の促進に取り組みました。 【課題】 ・アクアコイン分の原資が枯渇しているため、インストール数が未だ少なかったため、周知期間に課題が残りました。	
9 令和8年度の活動予定	ちばアクアラインマラソンや木更津トライアスロン等のスポーツイベントに対して、チラシの配布や民間による情報発信を行い、本市の観光所を行うとともに、市内飲食店や観光施設の利用の促進を図ります。	

※「8 令和7年度の実績等」について、現時点で未実施であり、令和年度末までに実施する場合は、見込みとして入力すること。
また、その際には、「8 令和7年度の実績等(見込)」と書き換えること。
※各年度実績や令和7年度実績や課題、令和8年度活動予定の入力については、できる限り具体的な数値等の入力をお願いします。
※「6 指標　各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	判定基準
A	指標に対し、達成または目標値に進捗	設定した目標を達成している、または目標に進捗している
B	指標に対し、一部遅れはあるが進捗中	指標達成に向けた取組が進んでおり、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善が必要	指標に対する進捗が明確に不十分でかつ改善に向けた対応が必要

第3次木更津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	2．立地の優位性を活かした誘客の推進
2 施策	(9)スポーツツーリズムの推進
3 主な取組	⑨-2スポーツイベントにおける70の実施 【計画上の記載】 ・ちばアクアラインマラソンや木更津トライアスロンをはじめ、民間が主催するスポーツイベントに対して、本市の観光所を行うとともに、市内飲食店や観光施設の利用の促進を図ります。	担当課：スポーツ振興課
4 現状と課題	アクアラインイースト観光連盟として「ちばアクアラインマラソン」に協賛し、かずさ生誕祭（市内を巡り、かずさ生誕祭）を開催しました。 また、木更津市観光協会主催である「木更津祭」をスポーツイベントと同日開催し、利用者の市内周遊を図りました。	
5 取組内容	みなとまつり木更津港花火協賛を継続するイベントをスポーツイベントと同日開催することで市内飲食店や、観光施設の利用促進につなげます。	
6 指標	8年度 2024年度 実績 / 9年度 2025年度 / 10年度 2026年度 / 11年度 2027年度 / 12年度 2028年度 / 13年度 2029年度 ちばアクアラインマラソンの予定 ●実 施 / ●実 施 / ●実 施 木更津トライアスロンの予定 ●実 施 各年度実績：1件（木更津トライアスロン大会） 各年度評価：A	
7 令和7年度の活動予定	木更津トライアスロン等のスポーツイベント開催に合わせ、本市の観光所を行います。	
8 令和7年度の実績・課題	市内からの来場が見込まれるスポーツイベント（木更津トライアスロン大会）で観光パンフレットやチラシを配布することで観光所を実施しました。 【課題】 パンフレットやチラシを配布したことによる効果測定が実施できておりません。	
9 令和8年度の活動予定	市内からの来場が見込まれるスポーツイベントで観光パンフレットやチラシを配布することで観光所を実施します。 また、効果測定の実施方法について検討します。	

※「8 令和7年度の実績等」について、現時点で未実施であり、令和年度末までに実施する場合は、見込みとして入力すること。
また、その際には、「8 令和7年度の実績等(見込)」と書き換えること。
※各年度実績や令和7年度実績や課題、令和8年度活動予定の入力については、できる限り具体的な数値等の入力をお願いします。
※「6 指標　各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	判定基準
A	指標に対し、達成または目標値に進捗	設定した目標を達成している、または目標に進捗している
B	指標に対し、一部遅れはあるが進捗中	指標達成に向けた取組が進んでおり、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善が必要	指標に対する進捗が明確に不十分でかつ改善に向けた対応が必要

第3次木更津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	2．立地の優位性を活かした誘客の推進
2 施策	(9)スポーツツーリズムの推進
3 主な取組	⑨市民体育施設の活用 【計画上の記載】 ・江川総合運動場や市民体育館などの所定体育施設を活用し、合宿や大会への参加など宿泊を伴う利用者を誘致します。	担当課：スポーツ振興課
4 現状と課題	江川総合運動場については、配置看護により令和元年6月に陸上競技場、令和元年4月に野球場、8月にサッカー場の配置し民間施設となり、合宿や大会への参加など、市内で宿泊を伴う利用者の誘致が急増となっています。	
5 取組内容	江川総合運動場や市民体育館などの市民体育施設を活用し、合宿や大会への参加など宿泊を伴う利用者の誘致を推進します。	
6 指標	8年度 2024年度 実績 / 9年度 2025年度 / 10年度 2026年度 / 11年度 2027年度 / 12年度 2028年度 / 13年度 2029年度 合宿・大会での利用件数 4件 / 5件 / 6件 / 7件 / 8件 / 9件 各年度実績：5件 各年度評価：A	
7 令和7年度の活動予定	配置看護者と連携し、合宿や大会などの宿泊に伴い宿泊利用していただいている団体等に、継続して利用してもらうよう引き続きお願いしていくとともに、新規利用者の誘致を推進します。	
8 令和7年度の実績・課題	合宿や大会の宿泊に伴い、種別して利用していただいている団体及び新規之団体に利用していただきました。 【課題】 ・今後、合宿・大会での利用件数を増やすには、指定管理者やスポーツ関係団体と連携し、新規団体の誘客への取組が重要です。	
9 令和8年度の活動予定	新規の利用団体用について、指定管理者やスポーツ関係団体と連携し取り組みます。	

※「8 令和7年度の実績等」について、現時点で未実施であり、令和年度末までに実施する場合は、見込みとして入力すること。
また、その際には、「8 令和7年度の実績等(見込)」と書き換えること。
※各年度実績や令和7年度実績や課題、令和8年度活動予定の入力については、できる限り具体的な数値等の入力をお願いします。
※「6 指標　各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	判定基準
A	指標に対し、達成または目標値に進捗	設定した目標を達成している、または目標に進捗している
B	指標に対し、一部遅れはあるが進捗中	指標達成に向けた取組が進んでおり、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善が必要	指標に対する進捗が明確に不十分でかつ改善に向けた対応が必要

第3次木更津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	2．立地の優位性を活かした誘客の推進
2 施策	(10)サイクルツーリズムの推進
3 主な取組	⑩サイクルツーリズムの観光 【計画上の記載】 ・自転車に乗ることを推奨し、健康に加え、地域の資源や魅力等を楽しむことを促すことで、地域の活性化につなげます。	担当課：観光振興課
4 現状と課題	本市海辺の多くを活用した「サイクルロード」が本市見晴らしがよく、自転車の快適さが良く、安全に利用できる環境づくりをする必要があります。	
5 取組内容	自転車に乗ることを推奨することに加え、地域の資源や魅力を伝達していただき、観光消費を促すことで、地域の活性化につなげます。	
6 指標	8年度 2024年度 実績 / 9年度 2025年度 / 10年度 2026年度 / 11年度 2027年度 / 12年度 2028年度 / 13年度 2029年度 ●サイクルロード（ちばイクルイベント）各種・実施 ●サイクルラック設置に係る補助制度検討 ●補助制度運用開始 実績：ゴール・ド・ちば の実施 各年度評価：B	
7 令和7年度の活動予定	継続型サイクルイベント「サイクルゴール」について、課題を考えるにあたり、コース設定や受講者応などの見直しを行い、より魅力的なイベントにすることで、参加者数の増加を目指します。 また、サイクリストの利便性向上を図るためのサイクルラックを市内7箇所設置について、事業者へのヒアリングやイベント実施時のアンケート調査を行い、観光消費効果の検証を行います。	
8 令和7年度の実績・課題	・コース設定と参加者応を考慮し、現状イベントの開催時期をずらしたが、参加者が減少人数は昨より10人減少してしまいました。（参加者101人） ・ハード設計整備については本年度アンケートを実施し、サイクルラック等の設置について見解があったとかから、土木課と協議をし自転車活用推進計画内の周辺にサイクルラックの設置を組み込みました。 【課題】 ・新規コース選定による狙いやサイクルゴール周辺所にチェックポイントになっている林木台第一トンネルの工事が行われたことによる参加者数の減少。また、全国で見ても参加者が減少しています。（ちば千葉：100人→千葉：1,190人）	
9 令和8年度の活動予定	海辺サイクルボードのコース幅の拡張しやすくなるボードしてある看板の検討を行います。 また、サイクルラックの設置について、令和8年度末までの自転車活用推進計画に基づき、観光協会や事業者と協議を行います。	

※「8 令和7年度の実績等」について、現時点で未実施であり、令和年度末までに実施する場合は、見込みとして入力すること。
また、その際には、「8 令和7年度の実績等(見込)」と書き換えること。
※各年度実績や令和7年度実績や課題、令和8年度活動予定の入力については、できる限り具体的な数値等の入力をお願いします。
※「6 指標　各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	判定基準
A	指標に対し、達成または目標値に進捗	設定した目標を達成している、または目標に進捗している
B	指標に対し、一部遅れはあるが進捗中	指標達成に向けた取組が進んでおり、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善が必要	指標に対する進捗が明確に不十分でかつ改善に向けた対応が必要

第3次木更津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	2．立地の優位性を活かした誘客の推進
2 施策	(10)サイクルツーリズムの推進
3 主な取組	⑩自転車活用推進計画の策定と推進 【計画上の記載】 ・自転車通行空間の整備を進を図り、現状の健康づくりやスポーツ活動、安全な利用促進など、手段別・総合的に推進を進め、自転車活用推進計画を策定します。	担当課：土木課
4 現状と課題	自転車活用推進計画の策定については、自転車の利用拡大による観光の魅力の向上、健康に対する交通手段、サイクルツーリズムの推進、サイクルスポーツの振興、そして健康の増進を図ることができる。さらに下長谷な交通手段であることから、市民全体の健康や地域を活性、そして市民の内面から豊かな魅力を高めたり、木更津市に合った計画の策定に取り組みます。	
5 取組内容	自転車活用推進計画については、自転車の活用による観光の魅力の向上、健康に対する交通手段、サイクルツーリズムの推進、サイクルスポーツの振興、そして健康の増進を図ることができる。さらに下長谷な交通手段であることから、市民全体の健康や地域を活性、そして市民の内面から豊かな魅力を高めたり、木更津市に合った計画の策定に取り組みます。	
6 指標	8年度 2024年度 実績 / 9年度 2025年度 / 10年度 2026年度 / 11年度 2027年度 / 12年度 2028年度 / 13年度 2029年度 ●木更津市自転車活用推進委員会(関係地区)の開催 木更津市自転車活用推進計画策定 / ●自転車活用推進計画策定 ●推進 （再掲）各年度実績：各委員会の開催 3回 計画策定は延期 （令和5年度実施予定）市内の現況・推進 各年度評価：B	
7 令和7年度の活動予定	自転車活用推進計画策定に向けて、木更津市自転車活用推進委員会及び関係機関である木更津市自転車活用推進委員会を開催します。	
8 令和7年度の実績・課題	自転車活用推進計画の策定に向けて、市民意識に関するアンケート（市民、高校生、中学生）実施、さらにつかみ方を改善し、自転車活用推進計画のアイデア募集、関係機関や公開をかけてヒアリングを行いました。 また、上記の取り組みについて、木更津市自転車活用推進委員会を開催し、計画策定に向けた検討を行いました。 【課題】 ・計画の策定後、目標数値の設定と事業内容の評価、進捗を継続的に取り組むことが必要です。	
9 令和8年度の活動予定	令和7年度に引き続き、委員会を開催し、計画策定を目指します。 策定後は、自転車活用に向けた取り組みを推進します。	

※「8 令和7年度の実績等」について、現時点で未実施であり、令和年度末までに実施する場合は、見込みとして入力すること。
また、その際には、「8 令和7年度の実績等(見込)」と書き換えること。
※各年度実績や令和7年度実績や課題、令和8年度活動予定の入力については、できる限り具体的な数値等の入力をお願いします。
※「6 指標　各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	判定基準
A	指標に対し、達成または目標値に進捗	設定した目標を達成している、または目標に進捗している
B	指標に対し、一部遅れはあるが進捗中	指標達成に向けた取組が進んでおり、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善が必要	指標に対する進捗が明確に不十分でかつ改善に向けた対応が必要

第3次木更津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	2. 立地の優位性を活かした誘客の推進
2 施策	(11)みなとまち木更津の再生に向けた環境整備
3 主な取組	担当課：産業振興課 ③-1富士見通りの再整備＜再掲＞ 【計画上の記載】 パークベイプロジェクトの一環として、木更津駅と港をつなぐ富士見通りの街道性化や歩道再整備を行い、にぎわいが広く、歩きたくなる空間づくりを行うことで、観光誘客を図ります。
4 現状と課題	令和6年10月からアーケードの撤去工事に着手し、令和7年3月末で上段の撤去が完了しました。港中の基盤が固まり見えていたことから、工事内容の変更に合わせ、完成時期を本年7月末で延長しました。
5 取組内容	パークベイプロジェクト推進事業と位置付け、アーケードの所有者である木更津市富士見通り商店街振興組合に市が締結している「アーケード撤去に係る覚書」に基づき工事を実施します。
6 指標	下記のうち当課の該当項目：アーケード撤去 R6年度 2024年度 実績 / R7年度 2025年度 / R8年度 2026年度 / R9年度 2027年度 / R10年度 2028年度 / R11年度 2029年度 ●解體完了 / ●アーケード撤去 / ●歩道再整備 / ●街路舗装 各年度実績：撤去完了 各年度評価：A
7 令和7年度の活動予定	地中埋設物所有者の関係者と連携を図りながら、令和7年12月までのアーケード基礎撤去完了をめざし工事を実施します。
8 令和7年度の実績・課題	地中埋設物所有者等と連携を図り、令和7年7月に撤去工事が完了しました。また、令和7年11月に木更津市富士見通り商店街振興組合および共同事業体で協議し、街路灯の撤去が完了し工事事業として完了となりました。 【実績】 事業完了済みのため課題はありません。
9 令和8年度の活動予定	事業完了済みのため活動予定はありません。

※「8 令和7年度の実績等」について、期時点で未実施であり、今後年度末までに実施する場合は、見込みとして入力すること。
また、その際には、「8 令和7年度の実績等(見込)」と書き換えること。
※各年度実績や令和7年度実績や課題、令和8年度活動予定の入力についてはできる限り具体的な数値等の入力をお願いします。
※「6 指標 各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	判定基準
A	指標に対し、達成または順調に進捗	設定した指標を達成している、または順調に進捗している
B	指標に対し、一部遅れはあるが進捗中	指標達成に向けた取組が進んでおり、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善が必要	指標に対する進捗が順調に不十分でかつ改善に向けた対応が必要

第3次木更津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	2. 立地の優位性を活かした誘客の推進
2 施策	(11)みなとまち木更津の再生に向けた環境整備
3 主な取組	担当課：地域政策室 ③-2 にぎわいのある中心市街地の整備 【計画上の記載】 市内中心市街地の活性化を図るため、商業地区、港地区、歴史・文化地区、公園地区の4地区を中心とした、にぎわいのある中心市街地の整備を進めます。 【実績】 令和6年度は、市内中心市街地の活性化に向けて、地域住民等を対象とした意見交換会を開催するとともに、公園の中央広場のカフェやマルシェなど開放による集客施設の開設に向けて取り組んでいます。 市役所中心エリアにおいては、令和7年度に庁舎の建築工事に着手していたため、本庁舎を文化会館交流等の機能を中心とした情報交流の拠点として整備することにより、民間活力を活用した魅力ある集客施設の誘致に向けて取り組む必要があります。
4 現状と課題	本更津市は、市内中心市街地にあるJR木更津駅周辺に、子育て・教育・福祉・高齢者・障がい者等の多様な市民が集まる拠点として、市役所本庁舎、文化会館、図書館、公園、商業施設等が集積しています。 市役所中心エリアにおいては、令和7年度に庁舎の建築工事に着手していたため、本庁舎を文化会館交流等の機能を中心とした情報交流の拠点として整備することにより、民間活力を活用した魅力ある集客施設の誘致に向けて取り組む必要があります。
5 取組内容	本更津市は、市内中心市街地にあるJR木更津駅周辺に、子どもから高齢者まで多世代が集まる場として、学び・教育・福祉・心療・いや隣の機能を集約し、市役所庁舎・ホール・図書館・地域交流センターを複合化した文化会館交流センターを整備します。 また、市役所庁舎と一体となる魅力的な空間を創造し、公園内の一部区画において民間事業者による集客施設の誘致に向けて取り組みます。
6 指標	下記のうち当課の該当項目：民間集客施設整備の公募準備 R6年度 2024年度 実績 / R7年度 2025年度 / R8年度 2026年度 / R9年度 2027年度 / R10年度 2028年度 / R11年度 2029年度 ●基本設計 / ●実施設計 / ●建設工事 / ●民間活力導入に向けたサウンディング型市場調査 / ●民間集客施設整備の公募準備 / ●事業者公募 / ●設計・工事 各年度実績：事業設計 民間集客施設整備の公募準備 各年度評価：B
7 令和7年度の活動予定	令和6年度の事業成果を元に市役所庁舎の建設に向けて、令和6年度に取り組むべき基本設計を実施します。令和7年度以降は、文化会館跡地、大型駐車場等の未活用状態の公有地を活用した公募型民間活力の市況等を実施します。
8 令和7年度の実績・課題	文化会館跡地、大型駐車場等の未活用状態の公有地を活用した、民間事業者による提案を募集しました。 【実績】 令和6年度の庁舎建設に向けて、全体工程を調整し、施策に事業を展開する必要があります。
9 令和8年度の活動予定	文化会館跡地について、既存施設の撤去を行った後、令和7年12月頃から建設工事に着手します。 また、公園内の一部区画において民間集客施設については、令和8年7月に事業者の選定を行った後、協定の締結・設備等の検討を進めます。

※「8 令和7年度の実績等」について、期時点で未実施であり、今後年度末までに実施する場合は、見込みとして入力すること。
また、その際には、「8 令和7年度の実績等(見込)」と書き換えること。
※各年度実績や令和7年度実績や課題、令和8年度活動予定の入力についてはできる限り具体的な数値等の入力をお願いします。
※「6 指標 各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	判定基準
A	指標に対し、達成または順調に進捗	設定した指標を達成している、または順調に進捗している
B	指標に対し、一部遅れはあるが進捗中	指標達成に向けた取組が進んでおり、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善が必要	指標に対する進捗が順調に不十分でかつ改善に向けた対応が必要

第3次木更津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	2. 立地の優位性を活かした誘客の推進
2 施策	(11)みなとまち木更津の再生に向けた環境整備
3 主な取組	担当課：市政地整備課 ③-3 大型駐車場の整備 【計画上の記載】 「人の集積」として期待されている中の島大橋を機会とし、「人の集積」として期待されている中の島大橋を機会とし、商業地区、港地区、歴史・文化地区、公園地区の4地区を中心とした、にぎわいのある中心市街地の整備を進めます。 【実績】 令和6年度は、中の島大橋の利用が多いエリア、海に近いところの老朽化や周辺が目立っています。 このため、公園緑地課所有の土地に位置づけ、改修を検討します。
4 現状と課題	観光スポットであるJR木更津駅周辺は、観光客の利用が多いエリア、海に近いところの老朽化や周辺が目立っています。 このため、公園緑地課所有の土地に位置づけ、改修を検討します。
5 取組内容	木更津市公園緑地長寿命化計画に基づき、中の島大橋において、擁壁の更新や舗装の改修、遊具の撤去、塗装の塗替等の長寿命化対策工事や施設補強工事を行います。
6 指標	R6年度 2024年度 実績 / R7年度 2025年度 / R8年度 2026年度 / R9年度 2027年度 / R10年度 2028年度 / R11年度 2029年度 ●擁壁整備工事 / ●遊具工事 / ●舗装工事 / ●舗装補強工事 ※：工事期間は、毎年10月～3月（予定） 各年度実績：擁壁整備工事 各年度評価：A
7 令和7年度の活動予定	擁壁の更新工事を行います。
8 令和7年度の実績・課題	令和7年度の工事実績として擁壁約9メートルの整備工事行い、すべての擁壁の整備が完了しました。 【課題】 課題に、整備が遅れており課題はありません。
9 令和8年度の活動予定	引き続き長寿命化対策工事の一環として、舗装塗装の塗替え工事を実施する予定です。

※「8 令和7年度の実績等」について、期時点で未実施であり、今後年度末までに実施する場合は、見込みとして入力すること。
また、その際には、「8 令和7年度の実績等(見込)」と書き換えること。
※各年度実績や令和7年度実績や課題、令和8年度活動予定の入力についてはできる限り具体的な数値等の入力をお願いします。
※「6 指標 各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	判定基準
A	指標に対し、達成または順調に進捗	設定した指標を達成している、または順調に進捗している
B	指標に対し、一部遅れはあるが進捗中	指標達成に向けた取組が進んでおり、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善が必要	指標に対する進捗が順調に不十分でかつ改善に向けた対応が必要

第3次木更津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	3. "オーガニックなまちづくり"の発信
2 施策	(12)効果的・効率的な情報発信
3 主な取組	担当課：シティプロモーション課 ③-1SNSを活用した多様な主体による視覚的な情報発信 【計画上の記載】 市だけでなく、市民や木更津ふるさと応援団、本市にかかわる様々な人などが、本市の魅力ある写真や動画を積極的に活用しSNSに投稿することで、本市の観光資源の認知度向上や誘客につなげていきます。 【実績】 フォロワー属性に応じた発信内容の最適化の調査で。
4 現状と課題	イベント情報や観光情報を市公式SNS等で発信。 ブログ・ホームページ等で情報を発信。
5 取組内容	イベント情報や観光情報を、市公式SNS等で発信します。
6 指標	R6年度 2024年度 実績 / R7年度 2025年度 / R8年度 2026年度 / R9年度 2027年度 / R10年度 2028年度 / R11年度 2029年度 発信件数 36件（R5年度）：60件 / 64件 / 68件 / 72件 / 76件 各年度実績：71件 各年度評価：A
7 令和7年度の活動予定	プロモーション動画を制作し、観光活動を図り、市公式SNSによる、より訴求力の高い情報発信を連続して行います。
8 令和7年度の実績・課題	イベント会場や商店街などで利用できる木更津市のイメージ動画と観光をメインとするショート動画を制作しました。 また、市公式SNSを活用してイベント情報などを積極的に発信し、継続的な発信により、本市の魅力を効果的に周知することができました。 【課題】 フォロワー属性に応じた発信内容の最適化の調査で。
9 令和8年度の活動予定	制作したプロモーション動画を活用し、本市の魅力を効果的に周知します。 市公式SNSは、媒体に合わせた内容でより多くの魅力ある情報を積極的に投稿していきます。

※「8 令和7年度の実績等」について、期時点で未実施であり、今後年度末までに実施する場合は、見込みとして入力すること。
また、その際には、「8 令和7年度の実績等(見込)」と書き換えること。
※各年度実績や令和7年度実績や課題、令和8年度活動予定の入力についてはできる限り具体的な数値等の入力をお願いします。
※「6 指標 各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	判定基準
A	指標に対し、達成または順調に進捗	設定した指標を達成している、または順調に進捗している
B	指標に対し、一部遅れはあるが進捗中	指標達成に向けた取組が進んでおり、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善が必要	指標に対する進捗が順調に不十分でかつ改善に向けた対応が必要

第3次木更津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	3. "オーガニックなまちづくり"の発信
2 施策	(12)効果的・効率的な情報発信
3 主な取組	担当課：観光振興課 ③-2SNSを活用した多様な主体による視覚的な情報発信 【計画上の記載】 市だけでなく、市民や木更津ふるさと応援団、本市にかかわる様々な人などが、本市の魅力ある写真や動画を積極的に活用しSNSに投稿することで、本市の観光資源の認知度向上や誘客につなげていきます。 【実績】 令和6年度は、市公式SNSを活用し、観光情報を発信しています。さらなる認知度向上を図るため、写真や動画などを活用することで視覚に訴える情報発信を行っていく必要があります。
4 現状と課題	自社の情報や観光施設にも協力いただきながら、観光スポットの認知度向上に努めています。 ホームページ・ブログの観光では、「観光スポット数や観光情報のさらなる充実」が求められていることから、観光情報をはじめ、イベント情報の掲載など充実していく必要があります。
5 取組内容	より観光客に伝わるような写真や動画を用いて、タイムリーな情報発信を行うことで、観光資源の認知度向上や観光誘客につなげます。
6 指標	R6年度 2024年度 実績 / R7年度 2025年度 / R8年度 2026年度 / R9年度 2027年度 / R10年度 2028年度 / R11年度 2029年度 発信件数 36件（R5年度）：60件 / 64件 / 68件 / 72件 / 76件 各年度実績：市公式SNS及びLINE 71件 各年度評価：A
7 令和7年度の活動予定	写真や動画を活用し、観光情報やイベント情報などタイムリーな発信を行います。
8 令和7年度の実績・課題	市公式SNS及び LINE、Facebookを活用し、観光情報やイベント情報などタイムリーな発信を行いました。 特に情報量は少ないものの、写真を多く活用し興味いただくよう、調査につなげることができました。 【課題】 問題点が ないため、動画による発信ができませんでした。
9 令和8年度の活動予定	シティプロモーション課に所内の観光担当を配置するショート動画の制作や引き続き継続し、観光時に写真や動画を活用した発信を行っていきます。

※「8 令和7年度の実績等」について、期時点で未実施であり、今後年度末までに実施する場合は、見込みとして入力すること。
また、その際には、「8 令和7年度の実績等(見込)」と書き換えること。
※各年度実績や令和7年度実績や課題、令和8年度活動予定の入力についてはできる限り具体的な数値等の入力をお願いします。
※「6 指標 各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	判定基準
A	指標に対し、達成または順調に進捗	設定した指標を達成している、または順調に進捗している
B	指標に対し、一部遅れはあるが進捗中	指標達成に向けた取組が進んでおり、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善が必要	指標に対する進捗が順調に不十分でかつ改善に向けた対応が必要

第3次木更津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	3. "オーガニックなまちづくり"の発信
2 施策	(12)効果的・効率的な情報発信
3 主な取組	担当課：観光振興課 ③-3観光客デジタルマップ「木更津おでかけナビ」の機能内容拡充＜再掲＞ 【計画上の記載】 木更津市のおでかけナビは、デジタルマップとして観光スポットや飲食店、宿泊施設や来館センターなどを行きやすくするように無料で、現在地から目的地までのルートを表示機能や検索機能も備えており、観光スポットやイベント情報等の最新情報を提供していくことで、観光客の来訪を促進し、観光消費を受電します。 【実績】 自社の情報や観光施設にも協力いただきながら、観光スポットの認知度向上に努めています。 ホームページ・ブログの観光では、「観光スポット数や観光情報のさらなる充実」が求められていることから、観光情報をはじめ、イベント情報の掲載など充実していく必要があります。
4 現状と課題	観光客向けに、広報などを通じて引き続き掲載情報を充実を図るとともに、イベント情報の掲載を充実していくことを課題を掲げます。 また、大型連休に合わせ、市公式SNSを活用し「木更津おでかけナビ」のサイトを向けることで、観光客の利用促進を図ります。
5 取組内容	事業者向けに、広報などを通じて引き続き掲載情報を充実を図るとともに、イベント情報の掲載を充実していくことを課題を掲げます。 また、大型連休に合わせ、市公式SNSを活用し「木更津おでかけナビ」のサイトを向けることで、観光客の利用促進を図ります。
6 指標	R6年度 2024年度 実績 / R7年度 2025年度 / R8年度 2026年度 / R9年度 2027年度 / R10年度 2028年度 / R11年度 2029年度 ウェブページ閲覧数（R5.10月～R6.9月）：280,000件 / 280,000件 / 280,000件 / 280,000件 / 280,000件 / 280,000件 情報入力件数 36件（R5年度）：255件 / 255件 / 255件 / 255件 / 255件 各年度実績：289,224件 271件 各年度評価：A
7 令和7年度の活動予定	事業者向けには、広報などを通じて引き続き掲載情報を充実を図るとともに、イベント情報の掲載を充実していくことを課題を掲げます。 また、大型連休に合わせ、市公式SNSを活用し「木更津おでかけナビ」のサイトを向けることで、観光客の利用促進を図ります。
8 令和7年度の実績・課題	市観光協会（旧、市商工会）には、「木更津おでかけナビ」サイトの利用促進を目的としたアンケートの実施とあわせた、情報発信を行いました。 木更津おでかけナビ スポット登録数(7箇所（02月11日現在） 【課題】 情報や物語のイベントの掲載量が少ないため、情報収集でき仕組みづくり必要です。
9 令和8年度の活動予定	利用者アンケートの結果では、観光スポットを追加して欲しいという回答に対して、イベント情報を充実させて欲しいという回答が多いため、市内で行われるイベントの情報を掲載できるような仕組みを構築し、掲載内容を充実させ事業。 また、引き続き、大型連休に合わせた発信を行っています。

※「8 令和7年度の実績等」について、期時点で未実施であり、今後年度末までに実施する場合は、見込みとして入力すること。
また、その際には、「8 令和7年度の実績等(見込)」と書き換えること。
※各年度実績や令和7年度実績や課題、令和8年度活動予定の入力についてはできる限り具体的な数値等の入力をお願いします。
※「6 指標 各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	判定基準
A	指標に対し、達成または順調に進捗	設定した指標を達成している、または順調に進捗している
B	指標に対し、一部遅れはあるが進捗中	指標達成に向けた取組が進んでおり、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善が必要	指標に対する進捗が順調に不十分でかつ改善に向けた対応が必要

第3次本更津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	3. “オーガニックなまちづくり”の発信
2 施策	(12)効果的・効率的な情報発信
3 主な取組	効-1情報発信の強化 【計画上の記載】 ・交通網整備や高いインターチェンジ周辺地区の上地を活用し、人の流れを生み出す観光いわゆるオ交流人口の拡大推進事業等と連携し、推進していくとともに、観光施設に情報発信コーナーの設置などを進めていくことで、情報発信機能を強化していきます。 担当課：観光振興課 産業振興課
4 現状と課題	交通の交通などを基幹社団が本更し、交通からの来訪者にいかにおこのれるかいべースを推進しています。 本更津インターチェンジ周辺地区では、民間事業者による施設計画が決定されたものの、未強事の状況であり早期の活用が求められています。
5 取組内容	総延長事業者や交通利便性の高いインターチェンジ周辺地区の上地活用ができるよう、宿泊施設などを市が支援する制度を十分設と運用し検討するなど、これらを高様する事業者の情報を集めます。 また、交通利点の強化整備についても、民間事業者等と連携し推進していきます。
6 指標	R5年度 2024年度 実績 / R7年度 2025年度 / R8年度 2026年度 / R9年度 2027年度 / R10年度 2028年度 / R11年度 2029年度 ●企業誘致、情報発信機能の強化 ●企業誘致方針の見直し・検討 ●新たな方針に基づいた企業誘致、情報発信機能の強化
	各年度実績：交通利便性方針の見直し・検討
	各年度評価：B
7 令和7年度の活動予定	民間事業者や交通利便性の高いインターチェンジ周辺地区の上地活用ができるよう、宿泊施設などを市が支援するなどし、検討について推進します。 また、情報発信インターチェンジ周辺地区の上地の活用推進について、検討・協議していきます。
8 令和7年度の実績・課題	【実績】 市内観光協会と連携して観光振興に取組んでいる。 【課題】 市内観光協会と連携して観光振興については、事業費の負担に伴い、活動内容の時間が問題となり計画の見直が課題となりました。 市内は、現在インターチェンジ周辺地区における地理について再検討を進めるとともに、活性方針の見直しを検討していきます。
9 令和8年度の活動予定	【実績】 市内主体については、企業誘致の推進に努力し、市内における産業用地の不足や用地取得に関する課題を踏まえ、「企業誘致方針」の見直しに取り組みます。 また、この初動の中で、民間事業者と連携した交流拠点の施設整備についても、実現に向けた検討を進めます。

※「8 令和7年度の実績等」について、期間内で未実施であり、今後年度末までに実施する場合は、見込みとして入力すること。
また、その際に、「8 令和7年度の実績等(見込)」と表で揃えること。
※各年度実績や令和7年度実績や課題、令和8年度活動予定の入力については可能な限り具体的な数値等の入力をお願いします。
※「6 指標 各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	判定基準
A	指標に対し、達成または見込に差掛	設定した目標を達成している、または目標に差掛している
B	指標に対し、一部遅れはあるが進捗中	指標達成に向けた取組が進んでおり、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善が必要	指標に対する進捗が明確に不十分でかつ改善に向けた対応が必要

第3次本更津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	3. “オーガニックなまちづくり”の発信
2 施策	(12)効果的・効率的な情報発信
3 主な取組	効-2情報発信の強化 【計画上の記載】 ・交通網整備や高いインターチェンジ周辺地区の上地を活用し、人の流れを生み出す観光いわゆるオ交流人口の拡大推進事業等と連携し、推進していくとともに、観光施設に情報発信コーナーの設置などを進めていくことで、情報発信機能を強化していきます。 担当課：観光振興課
4 現状と課題	大型商業施設等開発地区等で、新たな情報の発信を行っていますが、こうなる情報設備を設ける民間事業者等と連携し情報発信機能を強化していくことが必要があります。
5 取組内容	既存の民間施設等では、情報発信コーナーの設置などを働きかけ、情報発信拠点を増やしていくことで情報発信の強化につなげていきます。
6 指標	R5年度 2024年度 実績 / R7年度 2025年度 / R8年度 2026年度 / R9年度 2027年度 / R10年度 2028年度 / R11年度 2029年度 ●企業誘致、情報発信機能の強化 ●企業誘致方針の見直し・検討 ●新たな方針に基づいた企業誘致、情報発信機能の強化
	各年度実績：1件（道の駅保田園）
	各年度評価：B
7 令和7年度の活動予定	既存の民間施設等では、情報発信コーナーの設置などを働きかけ、情報発信拠点を増やしていくことで情報発信の強化につなげていきます。
8 令和7年度の実績・課題	【実績】 新たな情報発信拠点の設置はできていませんが、現在の民間施設（クルックフィールズ）にて観光パンフレットを配置してもらえることになりました。 【課題】 新たな情報発信拠点にて協力を依頼できる民間事業者の把握ができていません。
9 令和8年度の活動予定	産業活属課などと協力を依頼して、新たに設置した民間事業者に、情報発信コーナーの設置など働きかけを行います。

※「8 令和7年度の実績等」について、期間内で未実施であり、今後年度末までに実施する場合は、見込みとして入力すること。
また、その際に、「8 令和7年度の実績等(見込)」と表で揃えること。
※各年度実績や令和7年度実績や課題、令和8年度活動予定の入力については可能な限り具体的な数値等の入力をお願いします。
※「6 指標 各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	判定基準
A	指標に対し、達成または見込に差掛	設定した目標を達成している、または目標に差掛している
B	指標に対し、一部遅れはあるが進捗中	指標達成に向けた取組が進んでおり、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善が必要	指標に対する進捗が明確に不十分でかつ改善に向けた対応が必要

第3次本更津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	3. “オーガニックなまちづくり”の発信
2 施策	(12)効果的・効率的な情報発信
3 主な取組	効-3情報発信の強化 【計画上の記載】 ・交通網整備や高いインターチェンジ周辺地区の上地を活用し、人の流れを生み出す観光いわゆるオ交流人口の拡大推進事業等と連携し、推進していくとともに、観光施設に情報発信コーナーの設置などを進めていくことで、情報発信機能を強化していきます。 担当課：観光振興課
4 現状と課題	大型商業施設等開発地区等で、新たな情報の発信を行っていますが、こうなる情報設備を設ける民間事業者等と連携し情報発信機能を強化していくことが必要があります。
5 取組内容	既存の民間施設等では、情報発信コーナーの設置などを働きかけ、情報発信拠点を増やしていくことで情報発信の強化につなげていきます。
6 指標	R5年度 2024年度 実績 / R7年度 2025年度 / R8年度 2026年度 / R9年度 2027年度 / R10年度 2028年度 / R11年度 2029年度 ●企業誘致、情報発信機能の強化 ●企業誘致方針の見直し・検討 ●新たな方針に基づいた企業誘致、情報発信機能の強化
	各年度実績：1件（道の駅保田園）
	各年度評価：B
7 令和7年度の活動予定	既存の民間施設等では、情報発信コーナーの設置などを働きかけ、情報発信拠点を増やしていくことで情報発信の強化につなげていきます。
8 令和7年度の実績・課題	【実績】 新たな情報発信拠点の設置はできていませんが、現在の民間施設（クルックフィールズ）にて観光パンフレットを配置してもらえることになりました。 【課題】 新たな情報発信拠点にて協力を依頼できる民間事業者の把握ができていません。
9 令和8年度の活動予定	産業活属課などと協力を依頼して、新たに設置した民間事業者に、情報発信コーナーの設置など働きかけを行います。

※「8 令和7年度の実績等」について、期間内で未実施であり、今後年度末までに実施する場合は、見込みとして入力すること。
また、その際に、「8 令和7年度の実績等(見込)」と表で揃えること。
※各年度実績や令和7年度実績や課題、令和8年度活動予定の入力については可能な限り具体的な数値等の入力をお願いします。
※「6 指標 各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	判定基準
A	指標に対し、達成または見込に差掛	設定した目標を達成している、または目標に差掛している
B	指標に対し、一部遅れはあるが進捗中	指標達成に向けた取組が進んでおり、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善が必要	指標に対する進捗が明確に不十分でかつ改善に向けた対応が必要

第3次本更津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	3. “オーガニックなまちづくり”の発信
2 施策	(13)地域ブランディングの強化
3 主な取組	効-1本更津quality の活用 【計画上の記載】 ・オーガニックなまちづくりの観念に沿った高品質で魅力ある資源（大更津ならではのモノ・コト）を「本更津quality」として育てることで、市全体のブランド力の向上を図ります。 ・また、購入が可能なモノについては、ECサイト内で電子通貨など多様な決済手段を用いて購入できるようなシステムの導入を検討します。 担当課：都市政策課
4 現状と課題	・オーガニックなまちづくりの観念に沿った高品質で魅力ある資源（大更津ならではのモノ・コト）を「本更津Quality」として育てることによる、市全体のブランド力の向上が求められます。
5 取組内容	・オーガニックなまちづくりの観念に沿った高品質で魅力ある資源（大更津ならではのモノ・コト）を「本更津Quality」として育てることで、市全体のブランド力の向上を図ります。 ・また、購入が可能なモノについては、ECサイト内で電子通貨など多様な決済手段を用いて購入できるようなシステムの導入を検討します。
6 指標	R6年度 2024年度 実績 / R7年度 2025年度 / R8年度 2026年度 / R9年度 2027年度 / R10年度 2028年度 / R11年度 2029年度 ●基盤づくり ●選定 ●ブランド品成 ●プロモーション ●土産物開発 ●ECサイト検討
	各年度実績：なし
	各年度評価：A
7 令和7年度の活動予定	「協議会」で「モノ」については、海外展開時の上産物として育てるとともに、「コト」については、「オーガニックなまちづくり」の要な観点に向けた共調による「取組の輪」、「人の輪」を広げる取組を生み出せるよう検討します。
8 令和7年度の実績・課題	上記取組が開催しなかったため、活動してありません。 【実績】 【課題】
9 令和8年度の活動予定	「協議会」で「モノ」については、海外展開時の上産物として育てるとともに、「コト」については、「オーガニックなまちづくり」の要な観点に向けた共調による「取組の輪」、「人の輪」を広げる取組を生み出せるよう検討します。

※「8 令和7年度の実績等」について、期間内で未実施であり、今後年度末までに実施する場合は、見込みとして入力すること。
また、その際に、「8 令和7年度の実績等(見込)」と表で揃えること。
※各年度実績や令和7年度実績や課題、令和8年度活動予定の入力については可能な限り具体的な数値等の入力をお願いします。
※「6 指標 各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	判定基準
A	指標に対し、達成または見込に差掛	設定した目標を達成している、または目標に差掛している
B	指標に対し、一部遅れはあるが進捗中	指標達成に向けた取組が進んでおり、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善が必要	指標に対する進捗が明確に不十分でかつ改善に向けた対応が必要

第3次本更津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	3. “オーガニックなまちづくり”の発信
2 施策	(13)地域ブランディングの強化
3 主な取組	効-1本更津quality の活用 【計画上の記載】 ・オーガニックなまちづくりの観念に沿った高品質で魅力ある資源（大更津ならではのモノ・コト）を「本更津quality」として育てることで、市全体のブランド力の向上を図ります。 ・また、購入が可能なモノについては、ECサイト内で電子通貨など多様な決済手段を用いて購入できるようなシステムの導入を検討します。 担当課：シティプロモーション課
4 現状と課題	・オーガニックなまちづくりの観念に沿った高品質で魅力ある資源（大更津ならではのモノ・コト）を「本更津Quality」として育てることによる、市全体のブランド力の向上が求められます。
5 取組内容	・オーガニックなまちづくりの観念に沿った高品質で魅力ある資源（大更津ならではのモノ・コト）を「本更津Quality」として育てることで、市全体のブランド力の向上を図ります。 ・また、購入が可能なモノについては、ECサイト内で電子通貨など多様な決済手段を用いて購入できるようなシステムの導入を検討します。
6 指標	下記のうち当課の該当項目：造園づくり、運営、プロモーション R6年度 2024年度 実績 / R7年度 2025年度 / R8年度 2026年度 / R9年度 2027年度 / R10年度 2028年度 / R11年度 2029年度 ●基盤づくり ●選定 ●ブランド品成 ●プロモーション ●土産物開発 ●ECサイト検討
	各年度実績：・選定 ・プロモーション
	各年度評価：A
7 令和7年度の活動予定	・令和7年度重点品「本更津quality」の選定方法を確立させ、その後、「モノ」・「コト」を選定し、統一されたブランドとしてプロモーションをします。
8 令和7年度の実績・課題	【実績】 去年から本更津クオリティとなる「モノ」・「コト」を選定し、整理しました。また、市民ライターがつくる本更津マガジンの中で発信を行いました。 【課題】 プロモーションなど、更なる活用を検討することが課題です。
9 令和8年度の活動予定	各課と調整を図りながら、発信を行っていきます。

※「8 令和7年度の実績等」について、期間内で未実施であり、今後年度末までに実施する場合は、見込みとして入力すること。
また、その際に、「8 令和7年度の実績等(見込)」と表で揃えること。
※各年度実績や令和7年度実績や課題、令和8年度活動予定の入力については可能な限り具体的な数値等の入力をお願いします。
※「6 指標 各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	判定基準
A	指標に対し、達成または見込に差掛	設定した目標を達成している、または目標に差掛している
B	指標に対し、一部遅れはあるが進捗中	指標達成に向けた取組が進んでおり、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善が必要	指標に対する進捗が明確に不十分でかつ改善に向けた対応が必要

第3次本更津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	3. “オーガニックなまちづくり”の発信
2 施策	(13)地域ブランディングの強化
3 主な取組	効-1本更津quality の活用 【計画上の記載】 ・オーガニックなまちづくりの観念に沿った高品質で魅力ある資源（大更津ならではのモノ・コト）を「本更津quality」として育てることで、市全体のブランド力の向上を図ります。 ・また、購入が可能なモノについては、ECサイト内で電子通貨など多様な決済手段を用いて購入できるようなシステムの導入を検討します。 担当課：産業振興課
4 現状と課題	・オーガニックなまちづくりの観念に沿った高品質で魅力ある資源（大更津ならではのモノ・コト）を「本更津Quality」として育てることによる、市全体のブランド力の向上が求められます。
5 取組内容	・オーガニックなまちづくりの観念に沿った高品質で魅力ある資源（大更津ならではのモノ・コト）を「本更津Quality」として育てることで、市全体のブランド力の向上を図ります。 ・また、購入が可能なモノについては、ECサイト内で電子通貨など多様な決済手段を用いて購入できるようなシステムの導入を検討します。
6 指標	下記のうち当課の該当項目：ECサイト検討 R6年度 2024年度 実績 / R7年度 2025年度 / R8年度 2026年度 / R9年度 2027年度 / R10年度 2028年度 / R11年度 2029年度 ●基盤づくり ●選定 ●ブランド品成 ●プロモーション ●土産物開発 ●ECサイト検討
	各年度実績：なし
	各年度評価：B
7 令和7年度の活動予定	ECサイトが構築された後に、アクアラインでの決済機能を導入できるか検討します。
8 令和7年度の実績・課題	【実績】 現状、ECサイトは未構築であり決済機能の導入検討をすることができないので、機能が具体のされた際には検討を進めます。 【課題】 現状、課題はありません。
9 令和8年度の活動予定	ECサイトが構築された後に、アクアラインでの決済機能を導入できるか検討します。

※「8 令和7年度の実績等」について、期間内で未実施であり、今後年度末までに実施する場合は、見込みとして入力すること。
また、その際に、「8 令和7年度の実績等(見込)」と表で揃えること。
※各年度実績や令和7年度実績や課題、令和8年度活動予定の入力については可能な限り具体的な数値等の入力をお願いします。
※「6 指標 各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	判定基準
A	指標に対し、達成または見込に差掛	設定した目標を達成している、または目標に差掛している
B	指標に対し、一部遅れはあるが進捗中	指標達成に向けた取組が進んでおり、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善が必要	指標に対する進捗が明確に不十分でかつ改善に向けた対応が必要

第3次本吏津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	3. “オーガニックなまちづくり”の発信						
2 施策	(13)地域ブランディングの強化						
3 主な取組	物・体験型Guilty の改良 【計画上の記載】 オーガニックなまちづくりの理念に沿った来訪者で魅力ある提供（本吏津ならではのモノ・コト）を「本吏津Guilty」として育てることで、市全体のブランドの再上昇図ります。 また、購入が可能なモノについては、ECサイトや電子通貨など多様な決済手段を用いて購入できるようなシステムの導入を検討します。					担当課 観光振興課	
4 現状と課題	「本吏津Guilty」としてモノ・コトを提供する際に、初期の投資や時間が重要な要素になると考えられるが、ツーリズムの温度感を上昇幅としてプロモーションするにあたり、その場合や利潤とされ切れて育てることで、体験や商品の価値を高めることを目指します。						
5 取組内容	オーガニックなまちづくりの理念に沿った来訪者で魅力ある提供（本吏津ならではのモノ・コト）を「本吏津Guilty」として育てることで、市全体のブランドの再上昇図ります。 また、購入が可能なモノについては、ECサイトや電子通貨など多様な決済手段を用いて購入できるようなシステムの導入を検討します。						
6 指標	下記のうち地域の魅力項目：ツーリズム造成、土産物開発 6年度 2024年度 実績 / 7年度 2025年度 / 8年度 2026年度 / 9年度 2027年度 / 10年度 2028年度 / 11年度 2029年度 ●調査フロ ●検定 ●プロモーション ●ツーリズム造成 ●土産物開発 ●試作・検討						
	各年度実績	ECサイトの検討					
	各年度評価	B					
7 令和7年度の活動予定	令和7年度以降の実施段階において、造成されたモノ・コトの流通方法を検討します。 既存の観光資源の場合は、すでに活用されている可能性が高いことから、既存の状況や特質がプログラムに反映されているかを精査し、ブラッシュアップを行い、ECサイトについては、段階的に導入の可能性について検討を図ります。						
8 令和7年度の実績・課題	【チャレンジ】ツーリズム造成により、庁内から提出された本吏津Guilty の商品などの評価し、今後、活用に向けて取り組んでいくと認識しました。 活用については、本吏津Guilty の改修に機能等を切り予定でしたが、一度ご公表するとのことなので、本吏津マガジン等で取り上げるなど、必要に応じて活用していくことで合意なため、活用について再度検討が必要となりました。 また、ECサイトについては開発費と調整をおいはしたが、導入には至りませんでした。 【課題】 ・認定されたモノ・コトについて活用方法の検討や原稿案との調整や、ECサイト導入について検討が必要です。						
9 令和8年度の活動予定	シティプロモーション課が取り扱う本吏津Guilty に対して、活用方法を関係課と改めて協議します。						

※「8 令和7年度の実績等」について、現時点で未実施であり、今後年度末までに実施する場合は、見込みとして入力すること。
また、その際には、「8 令和7年度の実績等（見込）」と書き換えること。
※各年度実績や令和7年度実績や課題、令和8年度活動予定の入力について（はできる限り具体的な数値等の入力をお願いします。
※「6 指標 各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	判定基準
A	指標に対し、達成または目標に進捗	設定した指標を達成している、または目標に進捗している
B	指標に対し、一部遅れはあるが進捗中	指標達成に向けた取組が進んでおり、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善が必要	指標に対する進捗が現時点で不十分であり改善に向けた対応が必要

第3次本吏津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	3. “オーガニックなまちづくり”の発信						
2 施策	(13)地域ブランディングの強化						
3 主な取組	伝統芸能の情報発信 【計画上の記載】 本吏津の特産品である、米や梨、ブルーベリー、いちごなどの農産物や加工品の効果的販売を図るとともに、伝統に触発の特徴や歴史に関する情報発信を行うことで、認知度向上につながります。					担当課 農林振興課	
4 現状と課題	本吏津産品の魅力的価値に及び既なる農産品入に取り優良特産品の提案を行っているが、現状としては特産品認定観光に関する情報発信の強化を図ることが必要であります。 そのため、情報発信を強化し認知度を向上させる必要があります。						
5 取組内容	認知度の向上のため、多種な方法による情報発信に努めます。						
6 指標	6年度 2024年度 実績 / 7年度 2025年度 / 8年度 2026年度 / 9年度 2027年度 / 10年度 2028年度 / 11年度 2029年度						
	「アグリパーク木更津」での情報発信回数 2回	3回以上	4回以上	5回以上	6回以上	7回以上	
	各年度実績	3回					
	各年度評価	A					
7 令和7年度の活動予定	所公式ホームページやlocaloaでの「アグリパーク木更津」の紹介、木更津広報や各種媒体等を用いて引き続き情報発信を行います。						
8 令和7年度の実績・課題	所公式ホームページ「アグリパーク木更津」で、旬な果物狩り、ブルーベリー狩り、いちご狩りを紹介する情報発信を実施しました。 また、木更津市農業特産品技術事業者を公式ホームページと木更津市観光サイト「ささこんぷらす」で紹介し、幅広く周知して情報発信に努めました。 【課題】 ・現在の来場者が限られているため、更なる周知に努める必要があります。						
9 令和8年度の活動予定	更なる認知度向上のため、市公式ホームページの活用、広報紙や各種媒体等を用いて、引き続き情報発信を行います。						

※「8 令和7年度の実績等」について、現時点で未実施であり、今後年度末までに実施する場合は、見込みとして入力すること。
また、その際には、「8 令和7年度の実績等（見込）」と書き換えること。
※各年度実績や令和7年度実績や課題、令和8年度活動予定の入力について（はできる限り具体的な数値等の入力をお願いします。
※「6 指標 各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	判定基準
A	指標に対し、達成または目標に進捗	設定した指標を達成している、または目標に進捗している
B	指標に対し、一部遅れはあるが進捗中	指標達成に向けた取組が進んでおり、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善が必要	指標に対する進捗が現時点で不十分であり改善に向けた対応が必要

第3次本吏津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	3. “オーガニックなまちづくり”の発信						
2 施策	(14)映像支援事業の拡充						
3 主な取組	相模原支援 【計画上の記載】 ・相模原市内での撮影を行うことにより広く知識が周知されることから、撮影件数を増加します。					担当課 観光振興課	
4 現状と課題	撮影支援の実績は年度毎に、コロナ禍などの情勢に左右されています。 撮影件数で2番目のロケ地となった、相模原では、ロケーションからのかけはなる大型ショッピング施設に隣接しているが、 大型商品の撮影には、市単独ではなく、かずさ4市でロケ地誘致も必要となってくることから、連携について働きかけていく必要があります。						
5 取組内容	映像制作会社の誘致への協力（ロケーションの提供、エキストラの登録派遣、ロケ弁当の紹介）やロケ現場への立ち合い、各種メディアへの下準備対応を行うとともに、かずさ4市の連携し、撮影地紹介情報発信をしながら大型商品の撮影にも取り組みます。						
6 指標	6年度 2024年度 実績 / 7年度 2025年度 / 8年度 2026年度 / 9年度 2027年度 / 10年度 2028年度 / 11年度 2029年度						
	●撮影件数 県内1位						
	撮影件数 36件（市単独）	210件	220件	230件	240件	250件	
	各年度実績	2名の（認知1位）					
	各年度評価	B					
7 令和7年度の活動予定	本吏津ロケーションサーチのlocaloaを活用して情報発信を行うとともに、より効果的な情報発信の方法について、本吏津観光協会とともに検討します。市内業界の関係者が集まっていることもあり、その場を今ならびに「ロケ地巡りモニターツアー」を開催します。 また、大型作品の誘致のために、あらゆるし、かずさ4市でロケ地についての情報共有の場を設け、撮影感覚があり近所に位置して撮影支援をおります。						
8 令和7年度の実績・課題	localoaのHPを活用して作品情報等の情報発信を行い、二本目時点では昨年は対応も同本吏津の事業で最大撮影情報を提供しています。 また、ロケ地巡りモニターツアーの開催については事業費と対象の調整が整ります。今年度の実施は見送りました。 かずさ4市における撮影件数の増加については、4市間において調整を行ったものの、事業の方向性や実施時期等について合意形成が図れず実施を見送りました。 【課題】 ・撮影数やかずさ4市での連携不足でもあることがわかりました。						
9 令和8年度の活動予定	観光振興者の要望が継続して多くいる現実から、後々に実際な観光市民目線を示す民間の協約支援事業を実施とした無償支援を行います。 本吏津市がいち推奨できない施設（クリーンセンターなど）を活かし、皆様の行う大型作品の撮影件数を増加していきます。						

※「8 令和7年度の実績等」について、現時点で未実施であり、今後年度末までに実施する場合は、見込みとして入力すること。
また、その際には、「8 令和7年度の実績等（見込）」と書き換えること。
※各年度実績や令和7年度実績や課題、令和8年度活動予定の入力について（はできる限り具体的な数値等の入力をお願いします。
※「6 指標 各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	判定基準
A	指標に対し、達成または目標に進捗	設定した指標を達成している、または目標に進捗している
B	指標に対し、一部遅れはあるが進捗中	指標達成に向けた取組が進んでおり、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善が必要	指標に対する進捗が現時点で不十分であり改善に向けた対応が必要

第3次本吏津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	3. “オーガニックなまちづくり”の発信						
2 施策	(14)映像支援事業の拡充						
3 主な取組	相模原支援 【計画上の記載】 ・相模原に所在事業者の保有資産や教育機会、地域への経済効果を活かはすことが、相模原支援を推進します。					担当課 観光振興課	
4 現状と課題	相模原支援の実績は年度毎に、コロナ禍などの情勢に左右されています。市内の誘致関係者が参加できない状況が発生するなどの、 ハードルの高さが現状の課題となっています。 ・できるだけ民間関係者を支援するため、参加や参加に係る時間の制約を受けることにも、大型作品の誘致に取り組み、庁内での情報収集を進めていく必要があります。						
5 取組内容	誘致に当該情報作品があり、庁内での協議や相当協議が重ねることに加え、庁内時間が多くなる大型作品の誘致に取り組むことが庁内での合意を図ります。 また、撮影所作品の撮影に当たっては、ロケーションの提供、エキストラの登録派遣、ロケ弁当の紹介）やロケ現場への立ち合い、各種メディアへの対応を下準備を行うことで、リピーターを獲得に関係観光誘致に努めます。						
6 指標	6年度 2024年度 実績 / 7年度 2025年度 / 8年度 2026年度 / 9年度 2027年度 / 10年度 2028年度 / 11年度 2029年度						
	直接経済効果 30,000,000円（市単独）	31,200,000円	31,700,000円	32,200,000円	32,700,000円	33,200,000円	
	各年度実績	23,918,501円					
	各年度評価	B					
7 令和7年度の活動予定	誘致に当該情報作品があり、庁内での協議や相当協議が重ねることに加え、庁内時間が多くなる大型作品の誘致に取り組むことが庁内での合意を図ります。 また、撮影所作品の撮影に当たっては、ロケーションの提供、エキストラの登録派遣、ロケ弁当の紹介）やロケ現場への立ち合い、各種メディアへの対応を下準備を行うことで、リピーターを獲得に関係観光誘致に努めます。						
8 令和7年度の実績・課題	誘致に当該情報作品に対して、ロケ現場への立ち合いなどの撮影協力を幅広く取り組い、さらに高度の現代ニーズに対応する施策、直接的な経済効果（ロケ弁、食品販売等、宿泊等）は、21,918,501円との報告を受けました。 【課題】 ・民間の撮影支援事業者を主軸として映像支援に移行することから、経済効果が乏度しずらくなります。						
9 令和8年度の活動予定	民間の撮影支援事業者を主軸として映像支援に移行するとともに、経済効果は度合いについて検討します。 また、撮影が行われた市内のロケ地を巡る観光を検討します。						

※「8 令和7年度の実績等」について、現時点で未実施であり、今後年度末までに実施する場合は、見込みとして入力すること。
また、その際には、「8 令和7年度の実績等（見込）」と書き換えること。
※各年度実績や令和7年度実績や課題、令和8年度活動予定の入力について（はできる限り具体的な数値等の入力をお願いします。
※「6 指標 各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	判定基準
A	指標に対し、達成または目標に進捗	設定した指標を達成している、または目標に進捗している
B	指標に対し、一部遅れはあるが進捗中	指標達成に向けた取組が進んでおり、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善が必要	指標に対する進捗が現時点で不十分であり改善に向けた対応が必要

第3次本吏津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	3. “オーガニックなまちづくり”の発信						
2 施策	(15)内湾周辺エリアの活性化						
3 主な取組	物・国土見通し等の活用＜再掲＞ 【計画上の記載】 ・再整備された富士見通しの活用や、木更津飛行場周辺まちづくり基本構想に掲げる4つの重点地区（江川緑合運動場周辺・青葉公園・木更津駅周辺・田中島運動）を基軸とした回遊性向上の仕掛けづくりを、民間事業者等と連携しながら検討していきます。					担当課 地域政策室	
4 現状と課題	東京湾アクアラインの運用時からの回帰不足は、大型商業施設や観光施設等への来訪者でにぎわっているものの、 富士見通しをはじめとする木更津駅周辺の広域的な市への回遊は十分に図られていない状況にあります。 ・木更津駅周辺は、さらに基本構想に掲げる4つの重点地区（江川緑合運動場周辺・青葉公園・木更津駅周辺・田中島運動）を基軸とし、潮干（観光）に恵まれた恵と魅力を感じ、にぎわいの回遊性を更なる必要があります。						
5 取組内容	再整備される富士見通しの活用や、木更津飛行場周辺まちづくり基本構想に掲げる4つの重点地区（江川緑合運動場周辺・青葉公園・木更津駅周辺・田中島運動）を基軸とした回遊性向上の仕掛けづくりを進めます。						
6 指標	下記のうち市国道の設当項目：歩行者新安堀通遊歩（ほこみち）指定に係る協議・調整、民間事業者等と活用検討 6年度 2024年度 実績 / 7年度 2025年度 / 8年度 2026年度 / 9年度 2027年度 / 10年度 2028年度 / 11年度 2029年度						
	●歩行者新安堀通遊歩（ほこみち）指定に係る協議・調整 ●民間事業者等と活用検討 ●イベント等での活用						
	各年度実績	県とこみち利用ルール（案）の協議・検討					
	各年度評価	B					
7 令和7年度の活動予定	木更津飛行場周辺まちづくり基本構想に掲げる4つの重点地区（江川緑合運動場周辺・青葉公園・木更津駅周辺・田中島運動）を基軸とした回遊性向上の仕掛けづくりを進めます。						
8 令和7年度の実績・課題	新規で構成される木更津市市用地活用庁内協議会・富士見通しまちづくり協議会の活動を通じ、歩行者専用道路（ほこみち）のルール（案）について協議・検討を行い、再整備後の富士見通しの全域を活用した観光利用上の仕掛けづくりに取り組みました。 【課題】 ・事務局が民間事業者（ほこみち）の占用に係る管理体制構築の調整を担おとするため、関係機関との連絡的な協議・調整が必要です。						
9 令和8年度の活動予定	令和8年度、木更津市中心市街地活性化協議会・富士見通しまちづくり協議会の活動を通じて、再整備後の富士見通しの連携を推進したイベントの開催・調整等を協議、利活用を促進していくことで、木更津駅周辺等の回遊性向上に向けて取り組みます。						

※「8 令和7年度の実績等」について、現時点で未実施であり、今後年度末までに実施する場合は、見込みとして入力すること。
また、その際には、「8 令和7年度の実績等（見込）」と書き換えること。
※各年度実績や令和7年度実績や課題、令和8年度活動予定の入力について（はできる限り具体的な数値等の入力をお願いします。
※「6 指標 各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	判定基準
A	指標に対し、達成または目標に進捗	設定した指標を達成している、または目標に進捗している
B	指標に対し、一部遅れはあるが進捗中	指標達成に向けた取組が進んでおり、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善が必要	指標に対する進捗が現時点で不十分であり改善に向けた対応が必要

第3次本吏津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	3. “オーガニックなまちづくり”の発信						
2 施策	(15)内湾周辺エリアの活性化						
3 主な取組	物・国土見通し等の活用＜再掲＞ 【計画上の記載】 ・再整備された富士見通しの活用や、木更津飛行場周辺まちづくり基本構想に掲げる4つの重点地区（江川緑合運動場周辺・青葉公園・木更津駅周辺・田中島運動）を基軸とした回遊性向上の仕掛けづくりを、民間事業者等と連携しながら検討していきます。					担当課 観光振興課	
4 現状と課題	・みなとを活かした河港中、木更津飛行場周辺でイベントを開催することで賑わい創出を図っていますが、再整備された富士見通しや、木更津飛行場周辺まちづくり基本構想に掲げる4つの重点地区を基軸とした回遊性向上につながる仕掛けづくりを、民間事業者等と連携し検討していく必要があります。						
5 取組内容	再整備される富士見通しや、木更津飛行場周辺まちづくり基本構想に掲げる4つの重点地区を基軸とした回遊性向上につながる仕掛けづくりを、民間事業者等と連携し検討していく必要があります。						
6 指標	下記のうち地域の設当項目：イベント等での活用 6年度 2024年度 実績 / 7年度 2025年度 / 8年度 2026年度 / 9年度 2027年度 / 10年度 2028年度 / 11年度 2029年度						
	●歩行者専用道路遊歩（ほこみち）指定に係る協議・調整 ●民間事業者等と活用検討 ●イベント等での活用						
	各年度実績	協議・検討					
	各年度評価	B					
7 令和7年度の活動予定	令和8年度から、再整備された富士見通しでイベント等を実施できるよう、イベント内容や活用方法を民間事業者等と検討します。						
8 令和7年度の実績・課題	みなと多ちゃ木更津見通協議会で実施しているイベント（木更津ナチュラルパルク）を再整備された富士見通しで実施できないか、富士見通しまちづくり協議会と調整を図ります。 【課題】 ・中心市街地活性化協議会・富士見通しまちづくり協議会の事務と事業するため、調整が必要です。						
9 令和8年度の活動予定	みなと多ちゃ木更津見通協議会で実施しているイベント（木更津ナチュラルパルク）を再整備された富士見通しで実施できるよう関係者と検討を行い実施します。						

※「8 令和7年度の実績等」について、現時点で未実施であり、今後年度末までに実施する場合は、見込みとして入力すること。
また、その際には、「8 令和7年度の実績等（見込）」と書き換えること。
※各年度実績や令和7年度実績や課題、令和8年度活動予定の入力について（はできる限り具体的な数値等の入力をお願いします。
※「6 指標 各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	判定基準
A	指標に対し、達成または目標に進捗	設定した指標を達成している、または目標に進捗している
B	指標に対し、一部遅れはあるが進捗中	指標達成に向けた取組が進んでおり、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善が必要	指標に対する進捗が現時点で不十分であり改善に向けた対応が必要

第3次本更津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	3. “オーガニックなまちづくり”の発信
2 施策	(15)内湾周辺エリアの活性化
3 主な取組	砂・四季公園文化芸術施設の活用 【詳細上の記載】 ・砂・四季公園文化芸術施設の活用に向けて、民間事業者等と連携しイベント等の誘催や施策に対する取組を検討し、活用していきます。 担当課：地域政策課
4 現状と課題	本更津市周辺地区からつづく基本構想に基づき、青葉公園に、ホール・図書館・地域交流センターを複合した文化芸術施設の構成施設、交通広場、商業エリアなどを民間事業者とともに、公園内の一部区画へのカフェやキッチンなど民間による事業施設の誘致に向けて取り組んでいます。 砂・四季公園文化芸術施設を体験型とした場合、文化芸術活動に関するイベントや公園広場を活用したイベント、民間による事業施設におけるイベント、公園全体を活用した大規模なイベントなど、行政主体により多様な主体が公園を活用していくことで、全国的注目度にさせていき本更津市内外に訴求し、回遊性を高められるよう、検討を進める必要があります。
5 取組内容	市直公園文化芸術施設の体験型施設に、行政主体により多様な主体により、様々なイベントや開催可能となるよう整備等を進めるとともに、管理運営体制についても検討を進めます。 また、公園内の一部区画における民間事業者による事業施設の整備を通じて、都市公園としての魅力向上や賑たなにぎわい・交流の創出を図ります。
6 指標	下記のうち当課の該当項目：民間事業者等と活用検討 6(令)年度 2024年度 実績 / 7(令)年度 2025年度 / 8(令)年度 2026年度 / 9(令)年度 2027年度 / 10(令)年度 2028年度 / 11(令)年度 2029年度 ●民間事業者等に活用検討 → ●イベント等での活用 各年度実績：指定管理施設の検討 / 民間施設活用整備の公募 各年度評価：A
7 令和7年度の活動予定	令和10年度の新整公園文化芸術施設の開館前に向け、行政主体により多様な主体により、様々なイベントが開催可能となるよう整備を推進するとともに、管理運営体制についても検討を進めます。 また、公園内の一部区画における民間による事業施設の改修に向けた公募設置施設を作成します。
8 令和7年度の実績・課題	文化芸術施設の新整備施設に取り組むとともに、公園広場を含めた運営施設としての魅力的なコンテンツの提供等に向けて、民間事業者が民間運営体制について検討を進めます。 また、公園内の一部区画における民間事業者施設の整備については、公園の条件等を示す公募設置指針を作成し、令和8年度に向けて公募事業の募集を実施しました。 【課題】 ・新たなにぎわい資源の創出に向け、公園内の一部区画における民間事業者による事業施設の整備を推進する必要があります。
9 令和8年度の活動予定	令和8年12月頃から、文化芸術施設の建設工事に着手するとともに、交通広場、商業エリアなど公園施設の再整備に向けて実施設計に取り組みます。また、引き続き、執筆時配慮の管理運営体制について検討を進めます。 さらに、公園内の一部区画における民間事業施設については、令和6年7月に、事業者の選定を行った後、協定締結・協議等の手続きを進めます。

※「8 令和7年度の実績等」について、期時点で未実施であり、今後年度末までに実施する場合は、見込みとして入力すること。
また、その際には、「8 令和7年度の実績等(見込み)」と書き加えること。
※各年度実績や令和7年度実績や課題、令和8年度活動予定の入力については できる限り具体的な数値等の入力をお願いします。
※「6 指標 各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	判定基準
A	指標に対し、達成または進捗に進捗	設定した指標を達成している、または進捗に進捗している
B	指標に対し、一部遅れはあるが進捗中	指標達成に向けた取組が進んでおり、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善が必要	指標に対する進捗が明確に不十分でかつ改善に向けた対応が必要

第3次本更津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	3. “オーガニックなまちづくり”の発信
2 施策	(15)内湾周辺エリアの活性化
3 主な取組	砂・四季公園文化芸術施設の活用 【詳細上の記載】 ・砂・四季公園文化芸術施設の活用に向けて、民間事業者等と連携しイベント等の誘催や施策に対する取組を検討し、活用していきます。 担当課：観光振興課
4 現状と課題	公園周辺では、みなとまちの魅力を活かしたイベントを実施していますが、開館が大幅に左右されてしまうため、意図的な恒常的での実施にも検討していく必要があります。
5 取組内容	令和10年度の新整公園文化芸術施設の開館前に向けて、イベント等で活用できるよう民間事業者等と協議を行い、攻略内容を検討していきます。
6 指標	下記のうち当課の該当項目：イベント等での活用 6(令)年度 2024年度 実績 / 7(令)年度 2025年度 / 8(令)年度 2026年度 / 9(令)年度 2027年度 / 10(令)年度 2028年度 / 11(令)年度 2029年度 ●民間事業者等と活用検討 → ●イベント等での活用 各年度実績：検討 各年度評価：B
7 令和7年度の活動予定	イベント等での活用について、取組内容を検討します。
8 令和7年度の実績・課題	みなとまち本更津見直協議会で実施しているイベント等と連携し実施すると、賑わいにつながる仕組みづくりを検討する。 【課題】 ・活用予定事業者と打合せの機会がないため、青葉公園文化芸術施設の整備状況を把握し、民間事業者等と協議を行う場を設定していく必要があります。
9 令和8年度の活動予定	みなとまち本更津見直協議会で実施しているイベント等と連携し実施すると、賑わいにつながる仕組みづくりを関係者と検討します。

※「8 令和7年度の実績等」について、期時点で未実施であり、今後年度末までに実施する場合は、見込みとして入力すること。
また、その際には、「8 令和7年度の実績等(見込み)」と書き加えること。
※各年度実績や令和7年度実績や課題、令和8年度活動予定の入力については できる限り具体的な数値等の入力をお願いします。
※「6 指標 各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	判定基準
A	指標に対し、達成または進捗に進捗	設定した指標を達成している、または進捗に進捗している
B	指標に対し、一部遅れはあるが進捗中	指標達成に向けた取組が進んでおり、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善が必要	指標に対する進捗が明確に不十分でかつ改善に向けた対応が必要

第3次本更津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	3. “オーガニックなまちづくり”の発信
2 施策	(15)内湾周辺エリアの活性化
3 主な取組	中央の魅大橋、鳥居崎海浜公園の再 【詳細上の記載】 「恋人の聖地」として認定された「中央魅大橋」や、鳥居崎海浜公園周辺への観光誘客を図るため、関係団体等と効果的な運営を検討し再び行っていきます。 担当課：観光振興課
4 現状と課題	「恋人の聖地」を有するため、人気動画ユウチューブオトンテンスト用の撮影や、鳥居崎海浜公園を舞台としたイベントを実施していますが、イベント終了後の再来訪者への効果が低いため効果薄となっていたため、関係団体や民間事業者等と連携し、魅力へつながる観光資源づくりを検討していく必要があります。
5 取組内容	関係団体や民間事業者等と連携し、観光誘客につながるイベント等を検討し実施します。
6 指標	6(令)年度 2024年度 実績 / 7(令)年度 2025年度 / 8(令)年度 2026年度 / 9(令)年度 2027年度 / 10(令)年度 2028年度 / 11(令)年度 2029年度 イベント開催件数 3件（R5年度）：7件 / 7件 / 7件 / 7件 / 7件 各年度実績：1件（4月1日現在） 各年度評価：B
7 令和7年度の活動予定	関係団体や民間事業者等と連携し、観光誘客につながるイベント等を検討し実施します。
8 令和7年度の実績・課題	若年層に人気のコンテンツである恋愛映画プロデュース、7月1日～31日は、実施して、恋人の聖地「中央魅大橋」の認知度向上、必要性地区から市内地区、都市広域エリへの活性化に、関係者間の連絡協議会を立ち上の提案してみました。 ・鳥居崎オートインモールへ来訪者および鳥居崎海浜公園に、本更津駅西口周辺エリアとしたことで回遊性向上にもつなげることができました。 【実績】 ・インフルエンサー：1件誘致成功 【課題】 ・予算数が少額であるため、新たなイベントの企画が難しい状況です。
9 令和8年度の活動予定	予算の確保に努めるとともに、若人の聖地「中央魅大橋」プロジェクト実行委員会や民間事業者等に連携し、効果的なイベント等を企画し実施していくことで、来訪客につなげます。

※「8 令和7年度の実績等」について、期時点で未実施であり、今後年度末までに実施する場合は、見込みとして入力すること。
また、その際には、「8 令和7年度の実績等(見込み)」と書き加えること。
※各年度実績や令和7年度実績や課題、令和8年度活動予定の入力については できる限り具体的な数値等の入力をお願いします。
※「6 指標 各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	判定基準
A	指標に対し、達成または進捗に進捗	設定した指標を達成している、または進捗に進捗している
B	指標に対し、一部遅れはあるが進捗中	指標達成に向けた取組が進んでおり、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善が必要	指標に対する進捗が明確に不十分でかつ改善に向けた対応が必要

第3次本更津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	3. “オーガニックなまちづくり”の発信
2 施策	(15)内湾周辺エリアの活性化
3 主な取組	空き店舗への新規出店の推進 【詳細上の記載】 ・空き店舗を活用した出店への店舗改修費用の補助や、商業・創業支援により新規出店を推進するとともに、販売額の増収時間の延長や観光消費の拡大に努めます。 担当課：産業振興課
4 現状と課題	市心市街地では空き店舗が目立つことになって、賑わいの創出が実行されている要因と考えられ、空き店舗の利活用に関する取組が求められています。
5 取組内容	本更津市空き店舗登録制度に登録されている空き店舗をリフォームし開業する者に対して、改修工事費の一部を補助します。
6 指標	6(令)年度 2024年度 実績 / 7(令)年度 2025年度 / 8(令)年度 2026年度 / 9(令)年度 2027年度 / 10(令)年度 2028年度 / 11(令)年度 2029年度 新規出店数 4件（R5年度）：5件 / 5件 / 5件 / 5件 / 5件 各年度実績：2件 各年度評価：B
7 令和7年度の活動予定	本更津商工会議所や本更津産業・創業支援センターと連携し、引き続き空き店舗利用支援事業補助金の利用を新規出店者に促します。
8 令和7年度の実績・課題	本更津商工会議所や本更津産業・創業支援センターと連携し、引き続き空き店舗利用支援事業補助金を7事業者に対し、1,910千円の交付を行いました。 【課題】 空き店舗活用対策事業補助金は、事業特性上、出店者の非資料提出が要これ不提出が出現見えにくい状況にありますが、調査も開始の問いかけ・報告が遅れています。今後は、制度の認知向上のため、定期的な広報により周知と活用促進を図ります。
9 令和8年度の活動予定	申請者に対して提出つまり作成に指導に取り組むとともに本制度の定期的な広報活動を行い、新規に出店希望しにくい予算執行率向上の達成を目指します。

※「8 令和7年度の実績等」について、期時点で未実施であり、今後年度末までに実施する場合は、見込みとして入力すること。
また、その際には、「8 令和7年度の実績等(見込み)」と書き加えること。
※各年度実績や令和7年度実績や課題、令和8年度活動予定の入力については できる限り具体的な数値等の入力をお願いします。
※「6 指標 各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	判定基準
A	指標に対し、達成または進捗に進捗	設定した指標を達成している、または進捗に進捗している
B	指標に対し、一部遅れはあるが進捗中	指標達成に向けた取組が進んでおり、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善が必要	指標に対する進捗が明確に不十分でかつ改善に向けた対応が必要

第3次本更津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	4. 市内の多様な主体、近隣地域、関連団体等と連携した観光地域づくり
2 施策	(16)近隣市等との連携
3 主な取組	砂丘温泉郷による情報発信の強化 【詳細上の記載】 ・アクアラインイースト観光通信で使用しているXの活用や、観光デジタルマップ「千葉県内陸ドライブマップ」に市内の観光情報を掲載することで、観光客の誘致・滞在時間延長を図り、地域活性化につなげていきます。 担当課：観光振興課
4 現状と課題	・かずさ圏内の情報発信プラットフォーム（X）を活用し、かずさ市内観光情報やイベント情報等の発信を行っています。目標としているインフルエンサー数やフォロワー数に達していないため、安定な情報内容の充実が課題の解決が必要があります。 また、砂丘温泉郷、観光デジタルマップ「千葉県内陸ドライブマップ」等用からアクアラインイースト観光通信の連携を図り活動したため、機動的に活用していく必要があります。
5 取組内容	・かずさ圏内の情報発信プラットフォーム（X）及び「千葉県内陸ドライブマップ」を活用し、対面的に観光情報等を発信していくことで、観光客の増加・滞在時間延長を図り、地域活性化につなげます。
6 指標	6(令)年度 2024年度 実績 / 7(令)年度 2025年度 / 8(令)年度 2026年度 / 9(令)年度 2027年度 / 10(令)年度 2028年度 / 11(令)年度 2029年度 ●かずさ市共有の情報発信プラットフォーム（X）の運用支援 → ●「千葉内陸ドライブマップ」の運用支援 実績：1件（情報発信先拡張のとおり） 各年度評価：A
7 令和7年度の活動予定	・かずさ市共有の情報発信プラットフォーム（X）及び「千葉内陸ドライブマップ」を活用し、対面的に観光情報等を発信していく。
8 令和7年度の実績・課題	現状のタイムラインで、情報発信プラットフォーム（X）及び「千葉内陸ドライブマップ」を活用しイベント情報の発信を行っています。 【実績】（令和6年内容） ・「未更津オーガニックシンクシティフェスティバル(4/13)」、「オーガニックお楽しツアー」（4/20）、「内湾ウバ（4/29）」、「未更津ビエフェス」、「内湾内陸(R6.8月/R5.11月)」、「未更津金つり花火大会」（2025未更津トライアスロン大会）、「未更津公園観覧ライトアップ」、「未更津海中散りり祭」等 【課題】 ・公園通信のイベントについて検討が出ていない状況です。 ・3月フェブラー数が55と少ないため、フォロワー数増加に向けた取組も検討が必要です。 ・千葉内陸ドライブマップの情報数が少ないため、サイトの再構成が必要です。 (令和4～12月11, 6月P, 令和4～12月13, 2月P) ・市によって、観光機関に動作をしてもっているため、かずさ4市で機関性に活用していく必要があります。
9 令和8年度の活動予定	未定のためガイドに基づき、情報発信型観光などに情報提供のイベントについても、市市と連携を図りながら機動的に対応します。

※「8 令和7年度の実績等」について、期時点で未実施であり、今後年度末までに実施する場合は、見込みとして入力すること。
また、その際には、「8 令和7年度の実績等(見込み)」と書き加えること。
※各年度実績や令和7年度実績や課題、令和8年度活動予定の入力については できる限り具体的な数値等の入力をお願いします。
※「6 指標 各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	判定基準
A	指標に対し、達成または進捗に進捗	設定した指標を達成している、または進捗に進捗している
B	指標に対し、一部遅れはあるが進捗中	指標達成に向けた取組が進んでおり、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善が必要	指標に対する進捗が明確に不十分でかつ改善に向けた対応が必要

第3次本更津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	4. 市内の多様な主体、近隣地域、関連団体等と連携した観光地域づくり
2 施策	(16)近隣市等との連携
3 主な取組	観光プロモーションイベントへの参加・支援 【詳細上の記載】 ・観光関連団体等の主催による観光プロモーションイベントへの参加・支援を行うことで、市外への市外効果的に行っていきます。 担当課：観光振興課
4 現状と課題	市外で開催される、千葉県観光協会主催による市内イベントに参加し、シーズンに合わせた観光地の紹介や観光PRを行っていますが、こうなる市外からの観光誘客を図るため、情報発信の手段を増やしていく必要があります。
5 取組内容	千葉県観光協会主催や千葉プロモーション協議会等が主催するイベントに積極的に参加し、市外への誘客や観光情報等に情報発信の協力を働きかけ、観光PRを行います。
6 指標	6(令)年度 2024年度 実績 / 7(令)年度 2025年度 / 8(令)年度 2026年度 / 9(令)年度 2027年度 / 10(令)年度 2028年度 / 11(令)年度 2029年度 イベント参加件数 1件（R5年度）：2件 / 2件 / 2件 / 2件 / 2件 各年度実績：4件 各年度評価：A
7 令和7年度の活動予定	千葉県観光協会主催や千葉プロモーション協議会等が主催するイベントに積極的に参加し、市外への誘客や観光情報等に情報発信の協力を働きかけ、観光PRを行います。
8 令和7年度の実績・課題	千葉県観光協会主催による観光プロモーションイベントに参加しました。 また、小田原で実施された床屋の観光PRイベントでは、本更津マリンの観光資源を配布し、観光PRを行いました。 さらに、「アクアラインイースト観光通信」を活用して定期的に市のPRイベント（3月1日～31日）にも、観光協会と共同し参加しました。 【課題】 ・PRイベントを実施したことによる効果測定が図れておりません。
9 令和8年度の活動予定	今後も、市外での市のPRイベントが開催される際には積極的に参加し、観光PRを行っていきます。

※「8 令和7年度の実績等」について、期時点で未実施であり、今後年度末までに実施する場合は、見込みとして入力すること。
また、その際には、「8 令和7年度の実績等(見込み)」と書き加えること。
※各年度実績や令和7年度実績や課題、令和8年度活動予定の入力については できる限り具体的な数値等の入力をお願いします。
※「6 指標 各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	判定基準
A	指標に対し、達成または進捗に進捗	設定した指標を達成している、または進捗に進捗している
B	指標に対し、一部遅れはあるが進捗中	指標達成に向けた取組が進んでおり、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善が必要	指標に対する進捗が明確に不十分でかつ改善に向けた対応が必要

第3次木更津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	4．市内の多様な主体、近隣地域、関連団体等と連携した観光地域づくり
2 施策	(11)大型クルーズ船の誘致
3 主な取組	⑪-1港や海関関係者と協議・検討を継続 【対面上の応援】 ・大型クルーズ船の受入可能な環境整備を進めるとともに検討していくとともに、海関関係者等と協議を進めることで、寄港に向けた取組を推進していきます。	担当課：産業振興課
4 現状と課題	「みなとまちや更津再生プロジェクト」の推進に向け、青葉地区ウエリア活性化等の整備及び木更津港新地区水深岸壁等への新物・砂運搬船の受入れに伴う整備を加速する必要があります。
5 取組内容	大型クルーズ船の受入可能な環境整備を進めるとともに検討していくとともに、海関関係者等と協議を進めることで、寄港に向けた取組を推進します。
6 指標	R6年度 2024年度 実績 / R7年度 2025年度 / R8年度 2026年度 / R9年度 2027年度 / R10年度 2028年度 / R11年度 2029年度 ●クルーズ船受入に係る協議・検討 各年度実績：クルーズ船受け入れに係る協議・検討 各年度評価：B
7 令和7年度の活動予定	引き続き、千葉県の「木更津港活性化プロジェクト」に基づいて、木更津市の整備に関し、みなとまち木更津再生プロジェクトを実現するため、事業の促進を図ります。 また、港湾内の高潮対策、港湾の機能の強化を進め、港湾物流機能の確保、ついては経済活動を支えます。 なお、令和7年以降に新しく策定される「千葉県港湾長期構想」を踏まえ、「木更津港港湾計画」が改定されるため、みなとまち木更津再生プロジェクトが実現できるよう整備など協議、整理をします。 ・千葉県港湾計画については、市民利益増進の観点から、砂・砂運搬船の受入整備の促進とともに、大型クルーズ船の受入環境の整備に向け、港湾技監や関係者と協議を進めます。
8 令和7年度の実績・課題	「千葉県が策定した「木更津港整備構想」（令和7年2月策定）に基づき、「木更津港港湾計画変更検討会」が開催され、港湾の将来像について検討しております。そのなかで、特カのエリアリノ整備実施され、大型クルーズ船の受入環境の整備に向け、整理しました。 【課題】 関係者間と協議を進めます。
9 令和8年度の活動予定	令和8年度に向き直して、新たに策定された長期構想を踏まえ、港湾計画改訂の検討が本格化する予定であり、令和8年度内の改訂を目指して協議、調整が進められる見込です。 引き続き、大型クルーズ船の受入環境の整備に向け、粘く調整します。

※「8 令和7年度の実績等」について、現時点で未実施であり、今後年度末までに実施する場合は、見込みとして入力すること。
また、その際には、「8 令和7年度の実績等（見込み）」と書き換えること。
※各年度実績や令和7年度実績や課題、令和8年度活動予定の入力については可さる限り具体的な数値等の入力をお願いします。
※「6 指標 各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	判定基準
A	指標に対し、達成または順調に進捗	設定した指標を達成している、または順調に進捗している
B	指標に対し、一部遅れはあるが進捗中	指標達成に向けた取組が進んでおり、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善が必要	指標に対する進捗が明確に不十分でかつ改善に向けた対応が必要

第3次木更津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	4．市内の多様な主体、近隣地域、関連団体等と連携した観光地域づくり
2 施策	(11)大型クルーズ船の誘致
3 主な取組	⑪-1港や海関関係者と協議・検討を継続 【対面上の応援】 ・大型クルーズ船の受入可能な環境整備を進めるとともに検討していくとともに、海関関係者等と協議を進めることで、寄港に向けた取組を推進していきます。	担当課：観光振興課
4 現状と課題	大型クルーズ船入港の際には、ソーラス系的により、受け入れ環境の整備を行っています。 検査、金銭面的が必要となることから、カ、大型車両の乗降者である県や港湾関係機関と対応について協議を行っていく必要があります。
5 取組内容	県や港湾関係者と大型クルーズ船の受け入れのための環境整備について協議を進めます。
6 指標	R6年度 2024年度 実績 / R7年度 2025年度 / R8年度 2026年度 / R9年度 2027年度 / R10年度 2028年度 / R11年度 2029年度 ●クルーズ船受入に係る協議・検討 各年度実績：県との打合せ1件 各年度評価：B
7 令和7年度の活動予定	県や港湾関係者と大型クルーズ船の受け入れのための環境整備について協議を進めます。
8 令和7年度の実績・課題	「千葉県港湾計画の木更津港地域変更されるにあたり、本市の大型クルーズ船誘致に関するヒアリングが実施されたため、現状や課題を共有するとともに、大型クルーズ船寄港時のソーラス区域の設置に係る費用などの一部補助などを要望しました。 【課題】 港湾計画策定であるため入港スケジュールの調整が必要であることや、大型クルーズ船寄港時のソーラス区域の設置に係る費用負担が大きいことです。
9 令和8年度の活動予定	課題解消に向け、引き続き県と協議を行います。

※「8 令和7年度の実績等」について、現時点で未実施であり、今後年度末までに実施する場合は、見込みとして入力すること。
また、その際には、「8 令和7年度の実績等（見込み）」と書き換えること。
※各年度実績や令和7年度実績や課題、令和8年度活動予定の入力については可さる限り具体的な数値等の入力をお願いします。
※「6 指標 各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	判定基準
A	指標に対し、達成または順調に進捗	設定した指標を達成している、または順調に進捗している
B	指標に対し、一部遅れはあるが進捗中	指標達成に向けた取組が進んでおり、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善が必要	指標に対する進捗が明確に不十分でかつ改善に向けた対応が必要

第3次木更津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	4．市内の多様な主体、近隣地域、関連団体等と連携した観光地域づくり
2 施策	(11)大型クルーズ船の誘致
3 主な取組	⑪-2大型クルーズ船の受け入れ 【対面上の応援】 ・大型クルーズ船の受入に環境整備を進めるとともに、港湾関係者等と協議を進めることで、寄港に向けた取組を推進していきます。 ・また、寄港に伴う経済効果を高めるため、市内観光地の魅力向上に向けた取組を進めます。	担当課：観光振興課
4 現状と課題	大型クルーズ船入港の際には、ソーラス系的により、受け入れ環境の整備を行っています。 検査、金銭面的が必要となることから、カ、大型車両の乗降者である県や港湾関係機関と対応について協議を行っていく必要があります。 ・寄港に伴う経済効果を高めるため、市内観光地の魅力向上に向けた取組を進めます。
5 取組内容	県や港湾関係者と大型クルーズ船の受け入れのための環境整備について協議を進めます。 ・寄港に伴う経済効果を高めるため、市内観光地の魅力向上に向けた取組を進めます。
6 指標	R6年度 2024年度 実績 / R7年度 2025年度 / R8年度 2026年度 / R9年度 2027年度 / R10年度 2028年度 / R11年度 2029年度 ●クルーズ船受入に係る協議・検討 各年度実績：県との打合せ1件 各年度評価：B
7 令和7年度の活動予定	県や港湾関係者と大型クルーズ船の受け入れのための環境整備について協議を進めます。 ・寄港に伴う経済効果を高めるため、市内観光地の魅力向上に向けた取組を進めます。
8 令和7年度の実績・課題	「千葉県港湾計画の木更津港地域変更されるにあたり、本市の大型クルーズ船誘致に関するヒアリングが実施されたため、現状や課題を共有するとともに、大型クルーズ船寄港時のソーラス区域の設置に係る費用などの一部補助などを要望しました。 【課題】 港湾計画策定であるため入港スケジュールの調整が必要であることや、大型クルーズ船寄港時のソーラス区域の設置に係る費用負担が大きいことです。
9 令和8年度の活動予定	課題解消に向け、引き続き県と協議を行います。 ・寄港に伴う経済効果を高めるため、市内観光地の魅力向上に向けた取組を進めます。

※「8 令和7年度の実績等」について、現時点で未実施であり、今後年度末までに実施する場合は、見込みとして入力すること。
また、その際には、「8 令和7年度の実績等（見込み）」と書き換えること。
※各年度実績や令和7年度実績や課題、令和8年度活動予定の入力については可さる限り具体的な数値等の入力をお願いします。
※「6 指標 各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	判定基準
A	指標に対し、達成または順調に進捗	設定した指標を達成している、または順調に進捗している
B	指標に対し、一部遅れはあるが進捗中	指標達成に向けた取組が進んでおり、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善が必要	指標に対する進捗が明確に不十分でかつ改善に向けた対応が必要

第3次木更津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	4．市内の多様な主体、近隣地域、関連団体等と連携した観光地域づくり
2 施策	(12)新たな交通インフラの活用
3 主な取組	⑫-1 ①の特色を活かした連絡・交流の開拓 【対面上の応援】 ・都心部から東京湾の対岸に位置する本市の立地的特性を活かし、都心部と本市をつなぐ新たな交通手段として海路及び陸路の活用を検討するとともに、観光客の利便性向上に加え新たな魅力の創出を図ります。	担当課：観光振興課
4 現状と課題	・本市では、SANOと連携し、観光庁補助事業を活用し取り組みをして令和5年度に1回、令和6年度に2回、羽田空港と木更津港を結ぶクルーズツアーを実施しました。 ・今後は、持続的な化やブランドアップをすることで、観光資源として定着を図ります。 ・また、既存施設を活用した連携策について、実現可能性も含めて調査・研究に取り組みます。
5 取組内容	都心部から東京湾の対岸に位置する本市の立地的特性を活かし、都心部と本市をつなぐ新たな交通手段として船舶や航空機の活用を検討することで、観光客の利便性向上に加え新たな魅力の創出を図ります。
6 指標	R6年度 2024年度 実績 / R7年度 2025年度 / R8年度 2026年度 / R9年度 2027年度 / R10年度 2028年度 / R11年度 2029年度 ●連携事業者のクルーズ船の運航（定期運航）に係る協議・検討 ●クルーズ船の運航（臨時運航） ●空路の調査・研究 各年度実績：連携事業者との協議実施 各年度評価：B
7 令和7年度の活動予定	クルーズ船の運航を進めていくにあたり、アクアライン上部道路を活用する事業者と「海路を活用した観光振興に関すること」を目的とした連携協定の締結に向け検討を行います。 【課題】 協定締結に向け更なる協議が必要です。
8 令和7年度の実績・課題	クルーズ船の運航を進めていくにあたり、アクアライン上部道路を活用する事業者と「海路を活用した観光振興に関すること」を目的とした連携協定の締結に向け検討を行います。 【課題】 協定締結に向け更なる協議が必要です。
9 令和8年度の活動予定	クルーズ船の運航については、引き続き連携事業者と協議・検討を行いながら、補助金を活用しツアーのブラッシュアップ、付加価値化を図っていきます。 観光機を活用した交通手段については、実現可能性も含めて調査・研究に取り組みます。

※「8 令和7年度の実績等」について、現時点で未実施であり、今後年度末までに実施する場合は、見込みとして入力すること。
また、その際には、「8 令和7年度の実績等（見込み）」と書き換えること。
※各年度実績や令和7年度実績や課題、令和8年度活動予定の入力については可さる限り具体的な数値等の入力をお願いします。
※「6 指標 各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	判定基準
A	指標に対し、達成または順調に進捗	設定した指標を達成している、または順調に進捗している
B	指標に対し、一部遅れはあるが進捗中	指標達成に向けた取組が進んでおり、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善が必要	指標に対する進捗が明確に不十分でかつ改善に向けた対応が必要

第3次木更津市観光振興計画施策推進シート

1 コンセプト	4．市内の多様な主体、近隣地域、関連団体等と連携した観光地域づくり
2 施策	(12)新たな交通インフラの活用
3 主な取組	⑫-2木更津飛行場の活用利用 【対面上の応援】 ・陸上自衛隊木更津駐屯地の約1,500mの滑走路を有する木更津飛行場を活用し、地域振興を推進するため、関係省や国土交通省などの関係省庁と協議・検討を進めます。	担当課：地域政策課
4 現状と課題	・日米間位協定に基づき米軍が施設を管理し、米軍と陸上自衛隊が共同使用している木更津飛行場は、市は、関係の関連部局が政策施設を有する防衛施設であり、都心と共のしたエリアが生産がるうえで、当地施設を既存機能が活用することは、市内外の観光資源に資するだけでなく、サステナブルツーリズムにつながることが期待できます。 ・一方で、現在の航空における緊急時や陸上自衛隊部隊の運用に支障が生じないよう考慮する必要があります。
5 取組内容	防衛省や国土交通省などの関係省庁や関係機関と協議、検討を進めます。
6 指標	R6年度 2024年度 実績 / R7年度 2025年度 / R8年度 2026年度 / R9年度 2027年度 / R10年度 2028年度 / R11年度 2029年度 ●関係省庁と協議・検討 各年度実績：協議・検討 各年度評価：B
7 令和7年度の活動予定	防衛省や国土交通省などの関係省庁や関係機関と協議、検討を進めます。
8 令和7年度の実績・課題	木更津飛行場の利用利用については、測定器などの飛行等機器を活用した民間機の乗り入れについて、関係省庁と関係庁の交協議を進めます。 【課題】 民間機の乗り入れを実現するためには、施設の安全性や航空管制に関する制約といった問題解に対し、関係省庁が機関間に協議して取り組むことが不可欠です。
9 令和8年度の活動予定	防衛省や国土交通省などの関係省庁や関係機関と協議、検討を進めます。

※「8 令和7年度の実績等」について、現時点で未実施であり、今後年度末までに実施する場合は、見込みとして入力すること。
また、その際には、「8 令和7年度の実績等（見込み）」と書き換えること。
※各年度実績や令和7年度実績や課題、令和8年度活動予定の入力については可さる限り具体的な数値等の入力をお願いします。
※「6 指標 各年度評価」について下記の評価基準に基づいて評価を行うこと。

評価区分	指標達成状況	判定基準
A	指標に対し、達成または順調に進捗	設定した指標を達成している、または順調に進捗している
B	指標に対し、一部遅れはあるが進捗中	指標達成に向けた取組が進んでおり、一定の進捗が確認できる
C	指標に対し、遅れがあり改善が必要	指標に対する進捗が明確に不十分でかつ改善に向けた対応が必要